

第七類
衛生

松阪市消毒所使用料條例

(昭和八年四月二十日決議
昭和八年四月二十八日條例第五號)

第一條 本市ハ市制第百十三條ニ依リ傳染病豫防法以外ノ結核其他傳染性病毒ニ汚染シ又ハ汚染ノ疑アル物件消毒ノ爲消毒所ヲ使用セントスル者ニ對シ使用料ヲ徵收ス

第二條 使用料ハ左記各號ニ定ムル所ニ據ルモノトス

一、蒲團	一枚ニ付	金拾錢
二、小蒲團	全	金五錢
三、座蒲團	全	金五錢
四、敷布	全	金五錢
五、掛布	全	金五錢
六、枕	一個ニ付	金貳錢
七、蚊張	一張ニ付	金拾錢
八、小兒蚊張	全	金七錢

九、毛布	一枚ニ付	金拾錢
一〇、衣類	全	金七錢
一一、肌着	全	金五錢
一二、男帶	壹本ニ付	金參錢
一三、女帶	全	金五錢
一四、帽子	一個ニ付	金參錢
一五、前掛	一筋ニ付	金貳錢
一六、手袋	一對ニ付	金貳錢
一七、足袋	一足ニ付	金貳錢
一八、脚絆	全	金參錢
一九、洋服	一枚ニ付	金拾錢
二〇、トンビ	全	金拾錢
二一、外套	全	金拾錢
二二、消毒衣	全	金五錢
二三、手術衣	全	金五錢
二四、看護婦衣	全	金五錢

二五、手拭及タオル	一筋ニ付	金貳錢
二六、小紐	全	金貳錢
二七、反物	一反ニ付	金拾錢
二八、風呂敷	一筋ニ付	金貳錢
二九、袋物	一個ニ付	金五錢
三〇、カラー	一個ニ付	金貳錢
三一、ネクタイ	全	金貳錢
三二、胸當	一枚ニ付	金五錢
三三、卓子掛	全	金拾錢
三四、窓掛	全	金拾錢
三五、敷物壘	一壘	金五錢
三六、梱貨物	一貫匁ニ付	金五錢
三七、書類	全	金五錢
三八、茶碗及皿	一個ニ付	金貳錢
三九、盆	全	金貳錢
四〇、指環	全	金拾錢

- 四、掛置時計 一個ニ付 金拾錢
- 五、懷中時計 全 金拾錢

消毒物件中前項ニ據リ難キモノ又ハ建物貴重品其ノ他特別ノ物品ニシテ消毒若ハ保管上著シク費用ヲ要スルモノハ其ノ都度市長ニ於テ認ムル實費ヲ以テ其ノ額ヲ定ム消毒物件ニシテ運搬ヲ要スル場合ハ運搬車一臺ニ付受渡共各一回ニ付金五拾錢ヲ徴收ス

第三條 消毒所ヲ使用セムトスル者ハ其ノ旨市長ニ申出テ前條ニ定ムル使用料ヲ前納スルニアラサレバ之ヲ使用スルコトヲ得ス
前項ニ定ムル使用料ヲ納付シタル後消毒物ノ一部若ハ全部ニ付取消申出ツルコトナルモ既納ノ使用料金ハ之ヲ還付セズ
第四條 貧困ノ爲公費ノ救助ヲ受ケ又ハ使用料ヲ納付スルノ資力ナシト認ムル者ニ對シテハ市長ニ於テ使用料ヲ减免スルコトヲ得

附 則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市屠場使用料條例

(昭和八年三月三十日決議
同 四月十日認可
昭和八年四月二十八日條例第三號)

第一條 屠場ヲ使用スル者ハ使用料ヲ徴收ス

第二條 屠場使用料ハ左ノ四類ニ區別ス

一類 牛 壹頭ニ付 金壹圓五拾錢

二類 馬 壹頭ニ付 金壹圓

三類 犢羊豚 壹頭ニ付 金八拾錢

四類 牛馬犢羊豚肥育試驗ノ爲單ニ屠場備付ノ衡器ノミヲ使用スル爲入場スヘキモノニ對シテハ登頭ニ付金五拾錢

第三條 使用料ハ其ノ都度前納セシムルモノトス

附 則

本條例ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス

松阪市消毒所管理並使用料條例施行細則
昭和八年二月一日告示第六號

松阪市消毒所管理並使用料條例施行細則

昭和八年二月一日告示第六號

- 第一條 本市ハ財團法人三重縣結核豫防協會ノ貸與ニ係ル機械ヲ以テ松阪市消毒所ヲ設置シ市長之ヲ管理ス
- 第二條 消毒所ハ消毒所事務員市長ノ指揮ヲ受ケ消毒所内外ニ於ル取締ヲ爲スモノトス
- 第三條 消毒所ニ於ル建物及器具機械ノ使用管理ニ關シテ破損等ノタメ修理ヲ要スヘキ箇所ヲ生シタルトキハ事務員ヨリ直ニ市長ヘ其旨申出ツヘシ
- 第四條 消毒所ヲ使用セムトスル者ハ左記ノ事項ヲ具シ書面又ハ口頭ヲ以テ市長ニ其旨申出ツヘシ
 - 一、使用者ノ住所氏名
 - 二、患者病名
 - 三、消毒物ノ種類品名
 - 四、消毒物ノ所在地
- 第五條 消毒物件ニシテ消毒後變色其他毀損スルコトアルモ取扱上重大ナル過失ニ

基クニアラサル限リ市ハ之カ賠償ノ責ニ任セスニ
第六條 消毒済ノ物品ニ對シテハ左記第一號様式ノ消毒済證及第二號様式物品貼付
證票ヲ交付ス

附 則

本規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式

五 寸

消毒済證	
品名	
品質	
數量	
消毒施行年月日	
申請者住所氏名	
右消毒施行済	

四 寸

年 月 日
三重縣松阪消毒所

第二號様式

八 分

消毒済		
日	月	年
三重縣松阪消毒所		

一 寸五分

第八類 社會事業

松阪市公會堂使用料條例

(昭和八年四月二十一日決議
昭和八年四月二十八日條例第四號)

第一條 本市ハ市制第百十三條ニ基キ公會堂使用者ヨリ使用料ヲ徵收ス

第二條 使用料ハ左記區別ニ依リ之ヲ徵收ス但シ公共ノ用ニ供スル場合ハ市長ニ於テ使用料ヲ輕減又ハ免除スルコトヲ得

一、晝間	自午前七時 至午後五時	一回	階上、階下	壹圓
一、夜間	自午後五時 至翌午前七時	一回	全	貳圓 上
一、晝夜共用		一回	階上、階下	壹圓五拾錢 參圓 四圓

第三條 使用料ハ使用前之ヲ徵收ス

第四條 本條例施行ニ關スル細則ハ市長ニ於テ別ニ之ヲ定ム

附 則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市診療所使用料條例

(昭和八年四月二十日決議
全 昭和八年六月二十七日許可
昭和八年七月一日條例第十號)

第一條 本診療所ニ於テ診療ヲ受クル者ニ對シテハ本條例ノ定ムル所ニヨリ使用料ヲ徴收ス

第二條 使用料ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ徴收ス但シ注射料、處置料、檢査料、手術料及藥價其ノ他診斷書等ノ交付料ハ左ノ範圍内ニ於テ市長之ヲ定ム

- 診察料 一回 (有効期間三ヶ月) 金拾錢
 - 注射料 一回 金參拾錢以內
 - 處置料 一回 金參拾錢以內
 - 檢査料 一回 金參拾錢以內
 - 手術料 一回 金五拾錢以內
 - 藥價 一劑 一日分 金拾五錢以內
 - 診斷書、證明書、檢案書、處方箋 一通ニ付金五拾錢以內
- 前項ニ依ルノ外診療上特ニ費用ヲ要スル場合又ハ法令ニ依リ取扱フモノニ付テハ

別ニ市長ノ定ムル料金ヲ徴收ス

本市外居住者ニ對シテハ前各項ニ依ラス別ニ市長ノ定ムル料金ヲ徴收ス

第三條 使用料ハ即時之ヲ徴收ス但シ使用料納付ノ資力ナシト認ムル者ニ對シテハ市長ニ於テ之ヲ免除スルコトヲ得

第四條 本條例施行ニ關スル細則ハ市長之ヲ定ム

附 則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市營公益質屋條例

(昭和八年四月二十日決議
全 六月二十七日許可
昭和八年七月一日條例第十一號)

第一條 松阪市營公益質屋ハ公益質屋法及本條例ノ定ムルトコロニ依リ本市在住者ニ對シ物品ヲ質トシテ資金ノ貸付ヲ爲ス

第二條 質物ハ市長ニ於テ適當且確實ト認ムルモノニ限ル

第三條 貸付金額ハ質物ニ付市長ノ爲ス評價格十分ノ七以内トス但シ特別ノ事情アリト認ムル場合ハ此ノ限リニアラス

第四條 貸付金額ハ一口ニ付金拾圓一世帯ニ付金五拾圓ヲ限度トス

第五條 貸付利率ハ一ヶ月ニ付百分ノ一トス

第六條 流質期限ハ六ヶ月トス

第七條 貸付ヲ爲シタルトキハ質置主ニ質札又ハ通帳ヲ交付ス

利息ノ支拂質物ノ受戻其ノ他ニ關スル事項ハ質札又ハ通帳ニ依リ取扱フ

第八條 市長ハ質置主ニ於テ其ノ物品ヲ質入シ得ヘキ權利ヲ有スルコトヲ確認スル爲質置主ヲシテ必要ナル証明ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條 質物カ遺失物又ハ盜品ニシテ警察署ノ徵收ヲ受ケタルトキハ市長ハ其ノ質物ニ對スル貸付金額ノ返還及利子ヲ請求スルコトヲ得但シ質置主ニ於テ相當ノ物品ヲ更ニ提出シタルトキハ此ノ限ニアラス

第十條 質置主質札又ハ通帳ヲ亡失毀損ノ爲再交付シタルトキハ前ニ交付シタルモノハ無効トス

第十一條 質物天災地變其ノ他本市ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニヨリ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ損害ハ質置主ノ負担トス

第十二條 質物本市ノ責ニ歸スヘキ事由ニヨリ亡失又ハ毀損シタルトキハ本市ハ第三條ノ評價格ノ一倍半ヲ限度トシテ其ノ損害ヲ賠償ス

第十三條 流質期限經過後ノ質物ハ市長ニ於テ之ヲ處分スルコトヲ得

第十四條 市長ハ特別ノ事情アル質置主ニ對シテハ利息ヲ减免スルコトアルヘシ

第十五條 本條例施行ノ爲必要ナル細則ハ市長ニ於テ別ニ之ヲ定ム

附 則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市公會堂使用料條例施行細則

昭和八年二月一日告示第六號

第一條 公會堂ハ市ノ公用ニ供スルモノトス

第二條 公會堂ハ前條公用以外ノ集會等ニモ貸與スルモノトス但シ風俗公安ニ害アリ若クハ建物備品等ヲ損壞スル虞アリト認ムル場合ハ絶對ニ貸與セサルモノトス

第三條 公會堂ニ看守一名以上ヲ常置シ内外ノ取締ヲナサシムルモノトス

第四條 公會堂ヲ使用セムトスルモノハ豫メ其ノ目的及日時ヲ具シ管理者タル市長ヘ申出許可ヲ受クヘシ

第五條 公會堂使用中建物及備品ヲ汚損シタルトキハ使用者ニ於テ之カ賠償ノ責ニ任スルモノトス

第六條 使用者ハ使用後清潔ニ掃除シ備品ノ整頓ヲナシ管理者ニ引キ渡スヘシ

第七條 使用許可ノ後ト雖モ管理者ニ於テ必要アリト認メタル場合ハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

之カ爲生シタル損害ハ管理者其ノ責ニ任セス

第八條 常設以外ノ電燈器具人夫及消耗品等ニ要スル費用ハ總テ使用者ノ負担トス
 附 則
 本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市診療所使用料條例施行細則

昭和八年二月一日告示第六號

第一條 診察料ハ診察券ニ依リ算定徴收シ診察券ノ有効期間ハ發行ノ日ヨリ起算ス
 第二條 本市診療所使用料條例（以下單ニ條例ト稱ス）第二條ニ依ル使用料ハ左ノ區別ニ依リ徴收ス

種別	單位	名稱	料 金
注射料	一回	皮下注射	金拾錢
	一回	筋肉注射	金貳拾錢
	一回	靜脈注射	金參拾錢
	一回	血清注射	金參拾錢
處置料	一回	眼科處置	金拾錢
	一回	灌腸料	金貳拾錢
	一回	導尿料	金參拾錢
	一回	吸入料	金拾錢

一回	耳鼻咽喉科處置	金貳拾錢
一回	婦人科處置	金參拾錢
一回	皮膚科處置	金參拾錢
一回	外科處置	金參拾錢
一回	理化學的處置	金參拾錢
一回	糞便検査	金貳拾錢
一回	咯痰検査	金參拾錢
一回	胃液検査	金參拾錢
一回	腦脊體液検査	金參拾錢
一回	血液検査其ノ他	實費

手術料

一回	內用藥	實費
各一日	罈法合嗽洗眼吸入劑	金拾錢
各三日以下	但シ高價藥ニアリテハ實費ヲ徵收ス	金拾錢
各十五日以下	塗布膏劑撒布劑	金拾錢
各十五日以下	點眼劑	金拾錢

各十瓦以下	點耳鼻劑	金拾錢
一回分	灌腸劑(滋養灌腸劑ヲ除ク)	金拾錢
十瓦	尿道注入劑	金拾五錢
各一回	座藥 腔球	金五錢
一通	一、生命保險其ノ他特殊ノ場合ニ關スル診斷書又ハ證明書	金五拾錢
一通	二、其ノ他診斷書又ハ證明書	金參拾錢
一通	三、處方箋	金拾錢

前項ニ依ルノ外特ニ要スル費用又ハ取扱ニ關シテハ其ノ都度實費若ハ相當料金ヲ徵收ス

第三條 使用料條例第二條第三項ニ依ル本市在住者以外ノ者ニ對スル使用料ハ飯南郡醫師會業務報酬規程ヲ準用ス

附則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市診療所規程

昭和八年二月一日告示第六號

第一條 本市ニ診療所ヲ設ケ當市内在住者ノ診療ヲ行フ但シ時宜ニ依リ本市在住者以外ノ患者ニ就キテモ診療ヲ行フコトアルヘシ

第二條 本所ニ左ノ職員ヲ置ク

- 醫師 一名
- 藥劑師 一名
- 事務員 一名
- 看護婦 若干名

第三條 本所ノ所長ハ醫師之ヲ兼務ス

第四條 所長ハ所務ヲ掌理シ所員ヲ指揮監督ス

第五條 所員ハ所長ノ指揮ヲ受ケ事務ニ従事ス

第六條 本規程施行ニ關シ必要ナル細則ハ市長之ヲ定ム

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市診療所規程施行細則

昭和八年二月一日告示第六號

- 第一條 本所ハ當分ノ内松阪市大字松阪魚町千七百六十一番地ニ置ク
- 第二條 本所ノ診療科目ハ當分ノ内主トシテ内科トス但シ簡易ナル診療ハ内科以外ト雖之ヲ爲スコトアルヘシ
- 第三條 本所ノ診療時間及休診日左ノ如シ
 - 一、診療時間 毎日午前九時ヨリ午後四時迄トシ急病患者ハ此ノ限リニ非ラス但シ隨時之ヲ伸縮スルコトアルヘシ
 - 二、休診日
- 第四條 本所ニ薬局ヲ設置シ調劑投藥ヲ爲ス但シ患者ノ希望ニ依リ處方箋ヲ發行スルコトアルヘシ
- 第五條 本所ハ往診ヲ爲サス但シ重患者ニ對シテハ此ノ限ニアラス往診ハ車馬賃ノ實費ヲ徴ス

附 則

本細則ハ公布ノ日ヨリ施行ス

松阪市公益質屋條例施行細則

(昭和八年二月一日告示第六號
昭和九年四月十六日規程第八號改正)

第一條 本市公益質屋ニハ公益質屋事務員若干名ヲ置ク

第二條 事務員ハ市長ノ指揮ヲ受ケ公益質屋ニ關スル一切ノ事務ヲ掌理スルモノトス

第三條 本市公益質屋ノ取扱時間及休日ヲ定ムルコト左ノ如シ

一、取扱時間 毎日午前九時ヨリ午後八時迄 但シ時季ニヨリ伸縮スルコトアルヘシ

二、休日 毎日曜日及祝祭日ト一月一日ヨリ三日迄ヲ休日トス

第四條 入質セムトスルモノハ質物提示ノ上其ノ往所職業氏名年齢ヲ申告シテ希望金額ヲ申出ツヘシ

第五條 左ノ場合ニ於テハ資金ノ貸付ヲ爲サス

一、住所氏名年齢又ハ職業カ不詳ナルトキ

二、質入シ得ヘキ権利ヲ確認シ難キトキ

第六條 質物ハ動産ニ限ル 但シ左ニ掲クル物品ニ對シテハ入質ニ應セス

- 一、贓物其ノ他質人シ得ヘキ權利ニ疑アルモノ
- 二、評價ノ容易ナラサルモノ
- 三、保管中著シキ減價ノ虞アルモノ
- 四、腐敗シ易キモノ
- 五、火藥爆發藥其ノ他ノ發火物
- 六、傳染病毒汚染ノ疑アルモノ
- 七、他ノ質物ニ害ヲ及ホスヘキモノ
- 八、保存ニ不相當ノ費用又ハ手數ヲ要スルモノ
- 九、其ノ他取扱上不適當ト認メタルモノ

第七條 貸出ヲナス場合ハ質物ト引替ニ現金及第一號様式ノ入質ヲ証スル質札又ハ通帳ヲ交付ス

第八條 質札又ハ通帳ニシテ左ノ事項判明ナラサルモノハ毀損シタルモノト看做ス

- 一、質札又ハ通帳ノ記號番號
- 二、質屋名稱及主務者ノ記名調印
- 三、質入年月日

四、質置主ノ住所氏名

五、貸付金利息及質物ニ關スル件

第九條 質置主質札又ハ通帳ヲ亡失又ハ毀損シタル爲其ノ再交付ヲ請求セントスルトキハ第二號様式ニヨリテ質札又ハ通帳ノ再交付請求書ヲ差出スヘシ
前項ノ場合ニ於テ毀損ノ質札アルトキハ之ヲ質札又ハ通帳再交付請求書ニ添付スヘシ

第十條 質置主質札又ハ通帳ヲ亡失毀損シ其ノ再交付ヲ受ケサルモノ、流質期限經過後ノ質物返還ハ其ノ質札又ハ通帳ノ番號ヲ一週間公示シ尙實地ニ就キ詳細調査ノ上第三號様式ノ保證書ヲ徴シ貸出元利金ノ償還ヲナスニアラサレハ之ヲ還付スルコトヲ得ス

第十一條 本質屋ニ備付クヘキ諸帳簿ノ様式ハ特別ノ規定アルモノ、外松阪市公益質屋執務内規ニ依ル

第十二條 質物ハ質札又ハ通帳ヲ持參シ貸出金ノ元利ヲ辨済シタル者ニ其ノ質物ヲ還付スルコトヲ得之カ爲質置主ニ損害ヲ生スルコトアルモ本市ハ其ノ責ニ任セス
第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ質置主ニ通知ス

- 一、質物ノ滅失又ハ毀損シタルトキ

- 二、條例第十一條ニ依ル債權ノ拋棄金額ヲ決定シタルトキ
 - 三、條例第十二條ニ依ル損害賠償額ヲ決定シタルトキ
 - 四、質物ヲ警察署ニ徵收セラレシトキ
 - 五、其ノ他必要アリト認めタルトキ
- 第十四條 條例第十二條ニ依ル損害賠償ハ貸出元利金ノ完済ノトキ又ハ流質期限到來ノ時差引計算ニ依リ之ヲ爲スモノトス
- 第十五條 身元其ノ他調査ヲ要スル指示質物ハ一時假預リトナスコトヲ得此ノ場合第四號様式ノ假預リ証ヲ入質申込人ニ交付スヘシ
- 第十六條 條例第十四條ノ規定ニ依ル利息ノ減免ハ質置主カ貧困ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限リ之ヲナス事ヲ得
- 一、生活ノ爲公私ノ社會施設ニ依ル救恤ヲ受タルトキ
 - 二、貸付金ヲ災厄ニヨル用途ニ供シ市長ニ於テ相當ト認めタルトキ
- 第十七條 流質物ノ賣却ニ當リ競争入札ニ加ハラムトスルモノハ指定期限内ニ於テ豫メ現品ヲ熟覽ノ上入札スヘシ
- 第十八條 競争入札者ニ對シテハ各自見積金額ノ百分ノ五以上ノ入札保証金ヲ納付セシムルコトアルヘシ

第十九條 競落者契約ヲ結ハサルトキ又ハ代金ヲ納付セサルトキハ保証金ハ本市ノ所得トス

第二十條 流質物ノ賣却代金ハ即納トス

第二十一條 流質物ヲ賣却セントスルトキハ特別ノ事情ナキ限り評價格ヲ限度トシテ豫定價格ヲ定ムルモノトス

第二十二條 開札ハ公示シタル場所日時ニ入札者ノ面前ニ於テ之ヲ行フヘシ

入札者ハ一旦提出シタル入札書ノ引換變更又ハ取消シラナスコトヲ得ス

第二十三條 左ニ掲クル入札者ハ無効トス

一、賣拂番號記入洩レ又ハ認知シ難キモノ

二、入札金額及入札者ノ住所氏名ノ確認シ難キモノ

三、入札保証金不足セルモノ

四、氏名ノ下ニ捺印洩レノモノ

五、二名以上連名セルモノ

第二十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ豫定價格ヲ變更セスシテ再度入札ヲ爲サシムルコトヲ得

一、入札者ナキ場合

二、開札ノ結果何レモ第二十一條ノ豫定價格ニ達スルモノナキトキ
三、落札者契約ヲ結ハサルトキ

第二十五條 一般競争入札ノ結果豫定價格ニ達スルモノナキトキハ即日再入札ヲ行フヘシ

第二十六條 再入札ニヨリ尙豫定價格ニ達セサルトキハ其ノ日ヨリ三日以内ニ指名競争入札ニ付スヘシ

第二十七條 指名競争入札ニ付スヘキ場合ニ於ケル入札者ハ適宜之ヲ選定スヘシ

第二十八條 前條ニ依リ流質物ヲ賣却シ得サルトキハ速ニ報告スヘシ此ノ場合隨意契約ニ依ルヨリ利益ナリト認メ且適當ナル買受希望者アルトキハ共ニ之ヲ報告スヘシ

第二十九條 豫定價格ヲ定メタル物件ヲ隨意契約ニ依リ賣却セムトスルトキハ該價格ヲ下ラサル場合ニ限り分割賣却スルコトヲ得

第三十條 落札者ニシテ契約ヲ結ハサル者又ハ契約ノ義務ヲ履行セサル者ハ以後滿二ケ年間流質物賣却ニ際シ買受人タルコトヲ得ス

第三十一條 落札者又ハ買受人決定後ニ於テ匿レタル瑕疵其ノ他ノ理由ニ依リ減價ノ申立テアルモ本市ハ之ニ應セス

第三十二條 入札書及賣買契約書ハ第五號及第六號様式ニ依ル

第三十三條 本市公益質屋ノ公告ハ本質屋ノ揭示板ニ揭示スルモノトス

第三十四條 公益質屋法第十四條第一項ニ依ル残余金交付通知ノ場合質置主住所不明ニシテ送金スルコト能ハサルトキハ入質年月日質札又ハ通帳番號ヲ公告スルヲ以テ送達ニ代フルモノトス

附 則

本細則ハ公布ノ日ヨリ施行ス

第一號樣式

質札

取扱 概要 注意	流質期限滿了	昭和	年	月	日	香號	質入	昭和	年月
							年月日	年月	日
松阪市公益質屋 主務者 氏名 印		計		点		氏名		住所 松阪市大字	
取扱		概要		注意		氏名		住所	
流質期限滿了		昭和		年月		日		香號	
松阪市公益質屋		計		点		氏名		住所	
主務者 氏名 印		計		点		氏名		住所	
取扱		概要		注意		氏名		住所	
流質期限滿了		昭和		年月		日		香號	
松阪市公益質屋		計		点		氏名		住所	
主務者 氏名 印		計		点		氏名		住所	

通帳 內容

第 號	第 號	第 號	第 號	第 號
買入年月日	貸付金額	買入年月日	貸付金額	買入年月日
質物、種類	備考	買入年月日	貸付金額	買入年月日
備考	主務者 印	買入年月日	貸付金額	買入年月日

通帳 裏面 (表紙) 又、次葉

取扱概要

松阪市公益質屋 主務者 氏名 印

住所 氏名 殿

質契約ニ關シ
通知ヲ受クハ
キ場所

通帳 表紙

第 號

通帳

第二號樣式

通帳(質札)更交付請求保證書

借 額受 金	入 質 年 月 日	昭和 年 月 日
質物種類 及員數	通帳又ハ質札 亡失毀損年月日	昭和 年 月 日
	通帳(質札)番號	第 號

右入質ノ際交付相成候通帳質札亡失(毀損)致候處將來入質物相受候都合モ有之候ニ付テハ再交付相成度尤モ今後本通帳質札發見ノ節ハ直ニ提出可致ハ勿論萬一他人ニ於テ本通帳質札ヲ以テ權利ヲ主張スル者有之候場合ハ拙者及保証人ニ於テ屹度引受ケ解決ノ上毫モ貴市ヘ迷惑相懸ケ申間敷爲後日保証人連署ヲ以テ本書差入候也

昭和 年 月 日

住 所
質置主 氏 名 印
住 所
保証人 氏 名 印

松阪市公益質屋御中

第三號樣式

保 證 書

借 額受 金	質 入 年 月 日	昭和 年 月 日
質物種類 及員數	通帳又ハ質札 亡失毀損年月日	昭和 年 月 日
	通帳質札番號	第 號

右入質ノ際交付相成候通帳質札亡失毀損候ニ拘ラス今般入質物還付相受候ニ付テハ今後本通帳質札發見ノ節ハ直ニ提出可致ハ勿論萬一他人ニ於テ本通帳質札ヲ以テ權利ヲ主張スルモノ有之候場合ハ拙者及保証人ニ於テ屹度引受ケ解決ノ上毫モ貴市ヘ迷惑相懸ケ申間敷爲後日保証人連署ヲ以テ本書差入候也

昭和 年 月 日

住 所
質置主 氏 名 印
住 所
保証人 氏 名 印

松阪市公益質屋御中

備考 保証人ハ市内居住者ニシテ信用確實ナルモノタルコト

第四號樣式

借出承認金額 1 2 3 4 評 價	姓名 主 氏 主 世 帶 主 年 齡 職 業	第 一、二、三、四、 右物品入質申込ニ付假預リヲ爲ス 昭和 年 月 日 昭 和 年 月 日 日入質(現品引取)ニ付假預リ証返付 質置主 町 番地	取 扱 者 松阪市公 益質屋印

第五號樣式

入 札 書

左記金額ヲ以テ買受可申候ニ付ラハ松阪市公益質屋條例並ニ同細則ヲ遵守シ入札保証金 圓 錢相添へ入札書差入候也

松阪市長

殿

縣 市郡 村町
 入札者 氏

番地 名 印

番 號	第 一 號	第 二 號	第 三 號	第 四 號	第 五 號	第 六 號	第 七 號	第 八 號	金 額
番 號	第 九 號	第 十 號	第 十 一 號	第 十 二 號	第 十 三 號	第 十 四 號	第 十 五 號	第 十 六 號	金 額

松阪市營住宅貸與規程

昭和八年二月一日告示第六號

- 第一條 本規程ニ於テ市營住宅ト稱スルハ松阪市大字日野町二丁目ニ本市建設ノ住宅ヲ謂フ
- 第二條 市營住宅ハ市長ニ於テ適當ト認ムル者ニ之ヲ貸與ス
- 第三條 市營住宅ノ貸與ハ一世帯一戸ニ限ルモノトス
- 第四條 市營住宅ノ貸與ヲ受クヘキ者ニ對シテハ家賃ノ二ヶ月分ニ相當スル敷金ヲ提供セシムルモノトス
- 第五條 市營住宅ノ貸與ヲ受ケムトスルモノハ市長ニ申出テ其ノ承認ヲ受クヘシ
- 第六條 貸與期間ハ五ヶ年以内トス但シ市長ニ於テ必要ト認ムルトキハ期間内ト雖モ解約スルコトアルヘシ
- 第七條 借家料ハ別表ニ定ムル所ニ依ル
- 第八條 借家料ハ一ヶ月ヲ以テ計算シ當月分ヲ毎月二十日迄ニ納付スヘシ
- 新ニ貸與スル者ニ就テハ其ノ契約ノ日ヨリ起算シ又解約ノ時ニ在リテハ住宅ノ引

渡ヲ了スル日迄トス、其ノ月ノ日數ニ依リ日割計算ヲ以テ納付セシムルモノトス
第九條 借主ハ住宅及附屬物件ヲ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス
第十條 借主ハ住宅ノ模様替ヲ爲シ又ハ敷地内ニ建物ヲ築造シ其ノ他附屬物件ニ變
 更ヲ加フルコトヲ得ス但シ市長ノ承認ヲ得テ之ヲ爲シタル場合ニハ契約解除ノ際
 之ヲ復舊スヘシ

第十一條 天災事變其ノ他不可抗力ニ依ル場合ヲ除ク外借主ニ於テ住宅ニ損害ヲ
 與ヘタルトキハ之カ修繕又ハ賠償ヲ爲スヘシ

第十二條 借主ニ於テ解約セムトスルトキハ十日前ニ市長ニ届出テ住宅其ノ他附屬
 物件ノ検査ヲ受ケ引渡ヲ了スヘシ

前項ノ場合ニ於テ滅失又ハ毀損セルモノアルトキハ退去前市長ノ査定スル所ニヨ
 リ之カ賠償ヲ爲スヘシ

第十三條 市長ニ於テ火災豫防其ノ他必要ト認ムルトキハ市吏員ヲシテ居住者又ハ
 近隣ノ者ノ立會ヲ得テ隨時屋内ノ検査ヲ爲サシムルコトアルヘシ
 前項ノ場合ニ於テ居住者ハ其ノ立會又ハ検査ヲ拒ムコトヲ得ス

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本規程施行ニ必要ナル細則ハ別ニ之ヲ定ム

松阪市大字日野町二丁目市營住宅貸家料金表

住宅番號	一ヶ月一月當	戸數	住宅番號	一ヶ月一月當	戸數
至自 一三八號	三四四	六	至自 三三三號	二四〇	四
至自 一九五號	三四四	五	至自 四四一號	二四〇	二
至自 二〇〇號	三六八	一	至自 四四三號	二八八	六
至自 二一〇號	二七二	一	至自 四八三號	二八八	六
至自 二二二號	二八〇	三	至自 五〇一號	二四〇	二
至自 二四二號	二八八	一	至自 六一〇號	一七六	九
至自 二五〇號	二八八	一	至自 六九一號	一七六	九
至自 二七六號	三四四	二	至自 七七〇號	一九二	五
至自 二八六號	三四四	二	至自 七七五號	一七六	三
至自 三二八號	三二〇	五	至自 七八八號	一九二	七

九五	九四	至自 九三	至自 九二	八六
一九二	一七六	一九二	一七六	一七六
一	一	二	二	一
	一〇〇	九九	九七	九六
	一八四	一六八	一七六	一六八
	一	一	一	一

松阪市營住宅貸與規程施行細則

昭和八年二月一日告示第六號

- 第一條** 松阪市營住宅貸與規程ニ依ル施行ニ關シテハ本細則ニ定ムル所ニ依ル
- 第二條** 住宅ノ貸與ヲ受クヘキ者ハ左ノ各號ニ該當スルモノニ限ルモノトス
- 一、本市在住者タルコト
 - 二、家賃完納ノ資力アリ且家賃完納ニ付適當ナル保証人二名以上アルコト
 - 三、市長ニ於テ一家經營ノ能力アリト認ムルモノ
 - 四、本市内ニ於テ他ニ居住ニ適當ナル住宅ヲ所有セサルコト
- 第三條** 住宅ノ貸與ヲ受ケントスルモノハ第一號様式ニ依リ申込書ヲ提出スヘシ
- 第四條** 市長ハ第三條ニヨル申込ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ適當ト認ムル者ニ承認ヲ與フ但シ適當ト認ムル者豫定ノ家屋數ヲ超過シタルトキハ抽籤ニ依リ借主ヲ定ム
- 第五條** 住宅貸與ノ承認ヲ受ケタシモノハ其ノ日ヨリ五日以内ニ保証人二名連署ヲ以テ第二號様式ニ依ル契約書ヲ歛金ト共ニ差出スヘシ若其ノ期間内ニ之カ履行ヲ

爲サ、ルトキハ其ノ承認ヲ取消シタルモノトス

第六條 借主ハ契約書ヲ提出シ敷金ヲ提出シタル後ニ非サレハ住宅ニ入ルコトヲ得ス

第七條 保証人ハ本市住民ニシテ市長ニ於テ相當ノ資産又ハ信用アリト認めタル者ナルコトヲ要ス

第八條 保証人ノ異動變更ニ付テハ總テ市長ノ承認ヲ受クヘシ、保証人資格ヲ喪失等ノ事由ニ依リ市長ニ於テ必要ト認めルトキハ期間中ト雖變更セシムルコトアルヘシ

第九條 借主ハ善良ナル注意ヲ以テ借用物ノ管理ヲ爲スヘシ

第十條 借主ハ近隣ノ防害トナリ又ハ建物及附屬物件ヲ損傷スヘキ作業ヲ爲スコトヲ得ス

第十一條 住宅ノ模様替其ノ他加工ヲ爲シ又ハ敷地内ニ建物ヲ築造シ其ノ他附屬物件ニ變更ヲ加フルノ承認ヲ得ムトスルトキハ書面ヲ以テ届出ツヘシ、市長ノ承認ヲ得テ之カ工作ヲ了スルトキ亦同シ

第十二條 市長ノ承認ヲ得シテ借主ニ於テ借用物ニ對シ加工其ノ他模様替ヲ爲シタルコトヲ發見シタルトキハ之カ復舊又ハ賠償ヲナサシムルモノトス但シ市長ニ

於テ復舊ノ要ナシト認めルトキハ其ノ儘之ヲ市ニ引渡スモ妨ナシ、此ノ場合借主ハ市ニ對シ之カ辨償ヲ請求スルコトヲ得ス

第十三條 住宅ノ疊、建具ノ修繕及市長ノ指定スル住宅附屬ノ出費ハ借主ノ負担トス

第十四條 借主左記各號ノ一ニ該當スルトキハ市長之ヲ解約ス

一、一ヶ月以上住宅料ノ納付ヲ怠リ市長ノ督促ヲ受ケタル後市長ノ指定スル期限内ニ尙其ノ納付ヲ完了セサルトキ

二、市營住宅規程及施行細則ニ違背シ市長ノ注意ヲ受クルモ仍之ニ應セサルトキ

三、其ノ他市長ニ於テ必要ト認めタルトキ

第十五條 敷金ハ解約ノ際之ヲ還付ス但シ敷金ニ對シテハ利子ヲ附セス住宅料又ハ住宅ニ關シ賠償スヘキ費用アルトキハ市長ハ敷金ヨリ之ヲ控除スルコトヲ得

附 則
本細則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式

住宅借用申込書

借主	職業	氏名	生年月日	現住所ニ住居セル年數	戸數割一ヶ年納費額
	世帯主又ハ世帯主トノ續柄				
家族					
借入レセントスル住宅番號	松阪市大字日野町二丁目市營住宅第 號				
借主及借主ト世帯ヲ同フセル同居家族ノ收入	借主 主月收入	圓	圓		
現住所ヨリ轉宅ノ必要事情	同居家族ノ分月收入				

連帶保証人	住所	職業	氏名	生年月日
	住			
右市營住宅借入度連帶責任アル保証人連署ノ上申込候也				
	年 月 日	借主	連帶保証人	
		氏	氏	氏
		同	氏	氏
			氏	氏
			名	名
			名	名
			名	名
			名	名

松阪市長殿

第二號様式

契約証書

松阪市大字日野町二丁目
 第 號 住宅 壹戸
 附屬建物及疊何疊 障子何枚 何々何程

第八類 社會事業

借家料 一ヶ月金

借入期間 自昭和 年 月 日 至昭和 年 月 日 年間

右住宅拙者住居ノ爲賃借致候ニ就テハ市營住宅貸與規程及施行細則ヲ遵守シ保証人連帶責任ヲ以テ義務履行可致爲後日契約証書差入置候也

年 月 日

住所

借主

氏

名

印

住所

連帶保証人

氏

名

印

同

氏

名

印

松阪市長殿

松阪市方面委員給與規程

昭和八年二月一日告示第六號

第一條 救護法第四條ニ依リ設置スル松阪市方面委員ノ手當其ノ他ノ給與ハ本規程ノ定ムル所ニヨル

第二條 手當ハ一人年金額拾圓トシ毎年九月三月ノ末日ニ其ノ半額ヲ支給ス

第三條 方面委員用務ノ爲本市外ニ旅行シタルトキハ順路ニ依リ左表ニ定ムル旅費ヲ支給ス但シ用務ノ都合ニ依リ順路ニ依リ難キ場合ニ於テハ其ノ現ニ經過シタル通路ニ依ル

區分	鐵道賃	船賃	車馬賃	宿泊料	日當
縣外	二等實費	二等實費	一里ニ付	一夜ニ付	一日ニ付
縣內	二等實費	二等實費	四拾錢	四圓	貳圓
			參拾錢	參圓	貳圓

講習會視察等ノタメ旅行セシ場合ニ在リテハ市長ニ於テ減額支給スルコトヲ得

第四條 前各條ニ規程スルモノ、外支給ノ方法ハ松阪市給與條例ノ例ニ依ル

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市罹災救助資金支出方法

(昭和八年九月十九日決議
昭和九年一月十五日許可
昭和九年一月十七日規程第二號)

第一條 罹災救助ノ爲罹災救助資金ヲ支出スベキ費目支給額及其ノ支給方法ハ三重縣罹災救助基金管理及支出ニ關スル規程ヲ準用ス但シ食料ノ給與日數ハ十五日ヲ超ユルコトヲ得ス

第二條 罹災者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ之ヲ救助セス但シ避難所ニ收容シ焚出ヲ給與シ及治療ヲ施スハ此ノ限ニ在ラス

- 一、直接國稅、縣稅ヲ併セテ年額五圓以上ヲ納ムル者
- 二、本市特別稅戶數割一戸平均額以上ヲ納ムル者

前項第一號第二號ニ該當スル者ト雖市會ノ議決ヲ經テ救助スルコトヲ得

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第九類
稅
務

松阪市特別税戸數割條例

(昭和八年五月十九日決議
昭和八年五月二十五日條例第八號)

第一條 本市ハ本條例ノ規定ニ依リ特別税戸數割ヲ賦課徴收ス

第二條 戸數割ハ一戸ヲ構フルモノ及一戸ヲ構ヘサルモ獨立ノ生計ヲ營ムモノニ之ヲ賦課ス

第三條 戸數割總額中納稅義務者ノ資産ノ狀況ニ依リ資力ヲ算定シテ賦課スヘキ額ハ戸數割總額ノ十分ノ四以内トシ毎年度之ヲ決定ス

第四條 左ニ掲クル者ニ對シテハ戸數割ヲ賦課セス

- 一、貧困ニ因リ公費ノ救助ヲ受クル者
- 二、雇主又ハ抱主ト同居シ若ハ其ノ店舗内ニ寄寓スル傭人ノ類ニシテ市長ニ於テ課税ヲ不適當ト認ムル者
- 三、事業主ニ於テ一定ノ場所ニ合宿セシムル職工人夫
- 四、學生、生徒ニシテ修業ノ爲學校ニ寄宿シ又ハ他家ニ寄寓シ若ハ他人ト共同シテ一戸ヲ構フル者但シ自己ノ資力ニ依ル構戶者ハ此ノ限ニ在ラス

五、其ノ他市長ニ於テ課稅ヲ不適當ト認ムル者

第五條 地方稅ニ關スル法律施行規則第二十四條ノ規定ニ依リ控除スヘキ金額ハ左ノ各號ニ依ル

- 一、所得千圓以下ナルトキ一人ニ付金五拾圓
- 二、所得貳千圓以下ナルトキ一人ニ付金參拾五圓
- 三、所得參千圓以下ナルトキ一人ニ付金貳拾五圓

第六條 戶數割ノ賦課期日ハ毎年四月一日トシ其ノ日ニ現在スル納稅義務者ニ付キ市會ノ議決ヲ經テ賦課額ヲ定メ之ヲ二分シ左ノ二期ニ徵收ス但シ特別ノ事情アルトキハ市會ノ議決ヲ經テ其ノ年度ニ限リ徵收期限ヲ變更スルコトヲ得

前 期 七月三十一日限
後 期 十一月三十日限

第七條 賦課期日後納稅義務ノ發生シタル者ニ對スル賦課額ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ市長ニ於テ之ヲ算定シ月割ヲ以テ其ノ時々賦課徵收ス但シ第八條ノ規定ニ依リ追加ニ對シテハ其ノ徵收ノ期月ヨリ年度末迄ヲ一年分ト看做シ之ヲ算定ス

一、所得額ハ地方稅ニ關スル法律施行規則第二十條乃至第二十三條及第二十五條並本條例第五條ノ規定ニ依リ其ノ年額ヲ計算スルモノトス

二、資産ノ狀況ハ市長ニ於テ之ヲ認定スルモノトス

三、第一號ノ規定ニ依リ計算シタル所得額ニ當該年度ニ於テ既ニ定マリタル課率ヲ乘シタル額ニ資産狀況ニ依ル額ヲ合算シタルモノヲ以テ年額トス

第八條 四月二日以後戶數割ヲ追加シ若ハ更正シタル場合ニ於ケル納稅義務者ノ賦課額ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ市長ニ於テ之ヲ算定シ賦課ス

一、所得額ハ地方稅ニ關スル法律施行規則第二十條乃至第二十三條及第二十五條並本條例第五條ノ規定ニ依リ其ノ年額ヲ計算スルモノトス

二、資産ノ狀況ハ市長ニ於テ之ヲ認定スルモノトス但シ決議後追加アリタル場合ニ於テハ之ヲ加ヘサルモノトス

三、戶數割總額ヲ所得額及資産ノ狀況ニ依ル稅額ニ按分シ更ニ所得額ニ對スル課率ヲ定メ所得額ニ其ノ課率ヲ乘シタル額ニ資産狀況ニ依ル額ヲ合算シタルモノヲ以テ其ノ賦課額トス

追加ニ係ル戶數割ノ賦課期日ハ其ノ徵收期月初日トス

第一項ノ賦課徵收又ハ下戻ノ方法ハ市會ノ議決ヲ以テ其ノ時々之ヲ定ム

第九條 地方稅ニ關スル法律施行規則第二十六條ノ規定ニ依ル所得額ノ更訂及資力ノ算定ハ市長ニ於テ之ヲ計算決定シ戶數割ノ賦課額ヲ減スルモノトス

第十條 地方稅ニ關スル法律施行規則第二十四條ノ規定ニ依リ控除ヲ受ケントスル者ハ毎年四月一日現在ニ於テ年齡十四歲未滿六十歲以上ノ者又ハ不具癱疾者ノ氏名、生年月日、職業、納稅義務者トノ續柄及不具癱疾ノ事實ヲ記載シタル申請書ヲ四月三十日迄ニ市長ニ提出スヘシ

四月二日以後納稅義務ノ發生シタルモノハ其ノ發生ノ日ヨリ十日以内ニ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ニ依ル期日迄ニ申請ナキトキハ當該年度分ハ之ヲ控除セズ

市長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ申請者ニ對シ戶籍ノ謄本又ハ抄本若ハ醫師ノ診斷書其ノ他必要ナル書類ヲ提出セシムルコトアルヘシ

第十一條 戶數割納稅義務消滅シタルトキハ直ニ之ヲ市長ニ届出スヘシ

第十二條 詐偽其ノ他不正ノ行爲ニ依リ戶數割ヲ遁脱シタル者ニ對シテハ其ノ遁脱シタル稅金ノ三倍ニ相當スル金額（其ノ金額五圓未滿ナルトキハ五圓）ノ過料ヲ科ス

附 則

本條例ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス

松阪市督促手數料條例

（昭和八年四月二十日決議
昭和八年四月二十八日條例第二號）

第一條 市稅其ノ他市ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ直ニ督促狀ヲ發ス

第二條 督促狀ニハ十日以内ノ期間ニ於テ適當ノ期限ヲ指定ス

第三條 督促狀ヲ發シタルトキハ手數料トシテ一通ニ付金貳拾錢ヲ徵收ス

本市以外ノ市町村ニ在ル滯納者ニ對シテハ前項ノ外使丁ヲ以テスル場合ハ其ノ里數ニ應シ一里ニ付金貳拾錢ヲ郵便ヲ以テスル場合ハ其ノ實費ヲ增手數料トシテ徵收ス但シ使丁ヲ以テスル場合ニ於ケル里程一里未滿ノ端數ハ之ヲ一里トシテ計算ス

第四條 督促手數料ハ之ヲ督促狀ニ記載シ別ニ納額告知書ヲ發セス滯納金ト同時ニ徵收ス

第五條 督促狀ハ使丁又ハ郵便ヲ以テ送達ス使丁ヲ以テ送達セシムル場合ニ於テハ領收ノ證印ヲ徵スヘシ若シ之ヲ徵スルコト能ハサルトキハ使丁ヲシテ其ノ事由ヲ送達書ニ記載セシム

第六條 市稅以外ノ市收入ニ關シ督促狀ヲ發スル場合書類ノ送達ヲ受クヘキ者カ其ノ住所若ハ居所ニ於テ書類ノ受取ヲ拒ミタルトキ又ハ其ノ者ノ住所及居所カ帝國内ニ在ラサルトキ若ハ其ニ不明ナルトキハ書類ノ要旨ヲ公告シ公告ノ初日ヨリ七日ヲ經過シタルトキハ書類ノ送達アリタルモノト看做ス

附 則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪町特別稅觀覽稅條例

昭和八年二月一日告示第五號

第一條 町村制第九十七條ニ依リ本市ニ特別稅觀覽稅ヲ設定ス

第二條 觀覽稅ハ本町内ニ於ケル劇場、寄席、遊覽所等ノ諸興行場ニ於テ演劇其ノ他諸興行觀覽又ハ聽講者並ニ遊覽所ノ觀覽者ニ對シ其ノ入場料ヲ標準トシテ之ヲ賦課ス但シ町長ニ於テ慈善救濟等營利ノ性質ニ屬セザルモノト認メタルモノ及ビ入場料參拾壹錢未滿ノモノハ此ノ限リニアラズ

第三條 觀覽稅ハ左ノ標準ニヨリ之ヲ賦課ス但シ招待ヲ受ケタル無料觀覽者ニハ當日ノ入場料ニ相當スル課率ニヨリ之ヲ賦課ス

入場料參拾壹錢以上四拾錢未滿 金貳錢
 全 四拾錢以上五拾錢未滿 金四錢
 前條及本條ノ入場料ハ木戶錢、下足料、棧敷場代、敷物料等總テ一人ヨリ受クル總額トス

第四條 劇場、寄席、遊覽所等ノ諸興行ノ營業者ハ觀覽稅ノ徵收義務者トス

第五條 徵收義務者ハ毎五日間ニ於ケル入場料別入場人員及課稅上必要事項ヲ遲滯ナク町長ニ申告スヘシ但シ町長ニ於テ必要ト認メタルトキハ其ノ期間ヲ伸縮スルコトヲ得

第六條 觀覽稅ハ隨時之ヲ徵收ス

第七條 徵收義務者ハ帳簿ヲ調製シ毎日第三條ノ入場料別入場人員其ノ他必要事項ヲ明細ニ記載スヘシ

第八條 町ノ徵稅吏員ハ劇場、寄席、遊覽所等ノ諸興行場ニ臨檢シ又ハ當該營業者ノ帳簿書類ヲ隨時檢査スルコトアルヘシ

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ五圓以下ノ過料ヲ科ス

- 一、虚偽其ノ他不正ノ手段ヲ以テ本稅ノ通脫ヲ圖リタルモノ
- 二、虚偽ノ申告ヲナシタル者又ハ第五條ノ申告ヲ怠タリ注意ヲ受クルモ仍ホ其ノ手續キヲ爲サルモノ

- 三、帳簿ヲ調製セス又ハ其ノ記載ヲ怠タリ若クハ不正ノ記載ヲナシタルモノ

- 四、當該吏員ノ職務執行ヲ拒ミ又ハ忌避シ若クハ之ニ支障ヲ加ヘタルモノ

前項第一號ニ該當スル者自首シタルトキハ其ノ過料ヲ科セサルコトアルヘシ

附 則

第十條 本條例施行ニ關スル細則ハ町長之ヲ定ム

第十一條 本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市附加税賦課徴収規程

昭和八年二月一日告示第六號

第一章 總 則

第一條 附加税ハ左ニ掲グル本税ニ對シ各本條ノ規定ニ依リ納稅義務アル者ニ付之ヲ賦課徴收ス

國稅 地租、營業收益税、鑛業税、取引所營業税
縣稅 特別地稅、家屋稅、營業稅、雜種稅

賦課期日後納稅義務發生シ又ハ消滅シタルモノニ對シテハ左ノ各號ノ規定ニ依リ其ノ時々賦課徴收ス但シ他市町村ニ於テ賦課ヲ受ケタルモノニ對シテハ其ノ賦課ナキ部分ニミ賦課ス

- 一 地租附加税及特別地稅附加税ノ納稅義務發生シタルモノニ在リテハ發生ノ月ヨリ月割、其ノ消滅シタルモノニ在リテハ消滅シタル月迄ノ月割
- 二 前號以外ノ年稅ノ附加税ニシテ納稅義務發生シタルモノニ在リテハ發生ノ翌月ヨリ月割、其ノ消滅シタルモノニ在リテハ消滅シタル月迄ノ月割

三 月稅ノ附加稅ニシテ其ノ月十五日迄ニ納稅義務發生シタルモノニ在リテハ其ノ全月分十六日以後納稅義務發生シ又ハ十五日迄ニ納稅義務消滅シタルモノニ在リテハ其ノ半月分

四 日稅其ノ他隨時賦課ニ係ルモノ及本稅額ノ歩合協定ヲ要スルニ依リ本稅ノ納期限ニ徵收スルコトヲ得サルモノハ其ノ時々賦課徵收ス

第二條 附加稅ノ賦課額ハ本稅ヲ減免シ又ハ下戻サレタル場合ノ外賦課後ハ之ヲ變更セス

第三條 附加稅ノ賦課率告示後本稅ノ賦課率ヲ追加セラレ、コトアルモノニ對シテハ附加稅ヲ賦課セス

第四條 附加稅ノ賦課率ヲ増加シタル場合ニ於テ其ノ告示年度開始前ナルトキハ其ノ年度ノ賦課率ニ合算シテ賦課徵收ス

前項ノ場合ニ於テ其ノ告示年度開始後ナルトキハ其ノ徵收期月初日ニ現在スルモノ及其ノ後ニ於テ納稅義務ノ發生スルモノニ對シ之ヲ賦課徵收ス

第五條 附加稅ノ賦課率ヲ減シタル場合ニ於ケル下戻又ハ賦課徵收ノ方法ハ其ノ時々之ヲ定ム

第六條 稅金ノ通脫ヲ發見シタルトキハ其ノ時々賦課追徵ス

第二章 國稅附加稅

第七條 地租附加稅ハ四月一日及十月一日現在ニ於ケル本稅額ニ課率ノ半額ヲ賦課シ四月三十日及十月三十一日限之ヲ徵收ス

第八條 營業收益稅附加稅ハ本稅ノ納期毎ニ其ノ本稅額ニ課率ノ全額ヲ賦課シ本稅ノ納期限ニ之ヲ徵收ス

第九條 鑛業稅附加稅及取引所營業稅附加稅ハ各本稅ノ納期毎ニ其ノ本稅額ニ課率ノ全額ヲ賦課シ本稅ノ納期限ニ之ヲ徵收ス

第三章 縣稅附加稅

第十條 特別地稅附加稅ハ本稅ノ納期毎ニ特別地稅ヲ賦課スヘキ貨貨價格ニ課率ノ半額ヲ、家屋稅附加稅、營業稅附加稅及雜稅附加稅ハ各本稅ノ納期毎ニ其ノ本稅額ニ課率ノ全額ヲ賦課シ本稅ノ納期限ニ之ヲ徵收ス

第十一條 雜稅稅附加稅中觀覽稅附加稅及遊興稅附加稅ハ各本稅ノ徵收義務者ヲ以テ徵收義務者トス

第十二條 徵收義務者ハ徵收ニ關スル帳簿ヲ備ヘ所定ノ事項ヲ記載スヘシ前項帳簿ノ様式ハ市長之ヲ定ム

第十三條 徵收義務者ハ納稅義務發生ノ都度便宜ノ方法ニ依リ之カ稅金ヲ徵收シ競馬ノ觀覽稅附加稅ニ在リテハ優勝馬投票入場券ニ領收印ヲ押捺シ遊興稅附加稅ニ在リテハ其ノ計算書ニ納稅濟ナルコトヲ證シ納稅者ニ交付スヘシ

第十四條 徵收義務者ハ徵收スヘキ稅額ヲ觀覽稅附加稅ニ在リテハ一興行又ハ一競馬會毎ニ其ノ翌日遊興稅附加稅ニ在リテハ每翌月十五日迄ニ市長ニ申告シ徵收金ハ同時ニ之ヲ拂込ムヘシ

第十五條 徵收義務者ニ對スル交付金ハ其ノ拂込金額ニ依リ每年度四月ヨリ九月迄及十月ヨリ出納閉鎖期迄ノ二期ニ分テ之ヲ交付ス但シ特別ノ事情アル者ニ對シテハ其ノ請求ニ依リ隨時之ヲ交付ス

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市特別稅觀覽稅條例施行細則

昭和八年二月一日告示第六號

第一條 條例第二條ノ觀覽又ハ聽講者ハ同第三條ノ稅金ヲ其ノ興行場又ハ遊覽所ノ徵收義務者ヲ經テ納付スヘシ

第二條 條例第四條ノ營業者ハ第一號様式ノ帳簿ヲ調製シ同第三條ノ入場料別入場人員等ヲ明細ニ記載スヘシ
前項ノ帳簿ハ臨檢ノ市吏員ニ於テ其ノ記載事項ニ付キ説明ヲ求ムルトキハ速ニ之ニ應スヘシ

第三條 徵收義務者ハ條例第三條ノ入場料別入場人員等ヲ第二號様式ニ依リ每翌日迄ニ市長ニ申告スヘシ但シ市長ニ於テ特ニ禁日ヲ指定シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 市長ハ前條ノ申告ニ依リ徵收義務者ニ對シテ徵稅令書ヲ發付シ隨時本稅ヲ徵收ス

第五條 條例第六條ノ手数料ハ每翌月ニ於テ其ノ前月分ヲ交付ス但シ特別ノ事情ア

ル者ニ對シテハ本條ノ期間ニ拘ラス隨時之ヲ交付ス徵收義務者ハ毎月十日迄ニ其
ソ請求書ヲ市長ニ提出スヘシ

第六條 條例第八條ニ依リ臨檢又ハ帳簿書類ノ檢査ヲ行フ市吏員ニハ別ニ所定ノ證
票ヲ携帯セシム

附 則

第七條 本細則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(第一號樣式)

入場者員數簿

營業者

氏

名

入場料別入場者員數	
月 日	入場者員數
何月何日	計
	參拾壹錢以上
	四拾錢以上
	無料觀覽者
	計
	四五〇 _A
	二〇 _A
	四七〇 _A

(第二號樣式)

觀覽稅課稅標準額申告書

松阪市大字

町

昭和 年 月 日

徵收義務者

氏

名

印

松阪市長殿

入場料別入場者員數	
月 日	入場者員數
何月何日	計
	參拾壹錢以上
	四拾錢以上
	無料觀覽者
	計
	四五〇 _A
	二〇 _A
	四七〇 _A

市税延滞金ノ割合ニ關スル件

昭和八年二月一日告示第六號

市制町村制施行令第四十五條ノ規定ニ依リ市税ノ延滞金ノ割合ハ税金額百圓ニ付一日金四錢トス全令第五十八條ノ規定ニ依ル拂込金ノ延滞金ノ割合亦同シ

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市納稅組合設置獎勵規程

(昭和八年二月一日告示第六號
同九年二月二十八日改正決議
三月十日規程第七號)

第一條 本市ハ隣保團結相扶ノ自治觀念ヲ發達セシメ納稅ノ美風ヲ涵養シ之カ改善促進ヲ圖ルタメ納稅組合ヲ設置シ組合員ノ納付スヘキ諸稅金ヲ取纏ノ納期日內ニ納入シタル者ニ對シテハ本規程ノ定ムル所ニ依リ獎勵金ヲ交付ス但シ遊興稅及觀覽稅ヲ除ク

第二條 本規程ニヨリ納稅組合ト稱スルハ前條ノ目的ヲ達成スルタメ納稅者二十戶以上ヲ以テ組織スル組合ニシテ市長ノ承認シタル納稅團體ヲ謂フ

第三條 納稅組合ヲ設立シタルトキハ組合長ヨリ其ノ設立年月日、組合規約、組合員名簿ヲ添ヘ市長ニ届出テ承認ヲ受クルモノトス

組合員ニ異動ヲ生シタルトキ亦同シ

第四條 獎勵金ハ左ノ二種ニ分チ毎年度豫算ノ定ムル範圍內ニ於テ會計年度後之ヲ交付ス

一、創立交付金

二、納稅交付金

第五條 創立交付金ハ組合ヲ組織シタルトキ一戸ニ付金參拾錢以内ニテ之ヲ交付ス
設立後新ニ加入シタル者ニ對シテモ亦同シ

第六條 納稅交付金ハ毎年四月ヨリ九月ニ至ル迄ノ分ヲ十月中ニ十月ヨリ三月迄ノ
分ヲ四月ニ於テ之ヲ取調ヘ其ノ納入告知書又ハ徵稅令書一通ニ付金參錢ノ割合ヲ
以テ之ヲ交付ス

第七條 左記各號ニ該當スルモノニ對シテハ其ノ實績ヲ調査シ特ニ之ヲ表彰スルコ
トアルヘシ

- 一、三年以上繼續シテ優良ナル納稅成績ヲ保持シ他ノ模範タル納稅組合
- 二、組合役員ニシテ功績顯著ナルモノ
- 三、納稅組合ノ設置其ノ他納稅施設ニ關シ特ニ功勞アリタルモノ

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

本規程ハ昭和九年度ヨリ之ヲ施行ス

第十類 財 務

松阪市手数料徴収條例

(昭和八年五月十九日決議
昭和八年六月一日條例第九號)

第一條 本市ハ本條例ノ定ムル所ニ依リ手数料ヲ徴收ス

第二條 手数料ヲ徴收スヘキ事件ノ種類及金額左ノ如シ

- 一 地租、營業收益税、所得税其ノ他租税公課ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 二 土地建物船車牛馬其ノ他動産不動産ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 三 資産ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 四 鑛業ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 五 營業ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 六 法人ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 七 本籍住所居所ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 八 寄留ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢

- 九 族稱身分氏名年齢ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 一〇 身元ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 一一 品行經歷ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 一二 在學修學ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 一三 兵役ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 一四 身代限家資分散破産ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 一五 刑罰懲戒處分ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 一六 褒賞ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 一七 生存不在失踪ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 一八 出產死亡死産結婚相續ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 一九 家族親族隣佑ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 二〇 親權者後見人ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 二一 面識ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 二二 諸資格ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 二三 雇人ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 二四 財産管理人破産管財人ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢

- 二五 差配人納稅管理人ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 二六 種痘ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 二七 旅行ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 二八 印鑑ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 二九 里程ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 三〇 航路航海ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 三一 社寺宗教ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 三二 埋火葬ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 三三 土地其ノ他被害ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 三四 公權能力ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 三五 漂流物沈沒品ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 三六 文書受理ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 三七 公簿公文書圖面ニ關スル証明 一件ニ付 金貳拾錢
- 三八 公簿公文書圖面印鑑ノ閱覽照合 一件ニ付 金貳拾錢
- 三九 公簿公文書圖面ノ謄本抄本 一枚ニ付 金貳拾錢
- 四〇 土地ハ五筆迄ヲ一件トシ六筆以上一筆ヲ加フル毎ニ參錢ヲ遞加ス

建物ハ三棟迄ヲ一件トシ四棟以上一棟ヲ加フル毎ニ四錢ヲ遞加ス
圖面ノ謄本ハ美濃紙型ヲ以テ一枚トナシ二枚以上一枚ヲ加フル毎ニ貳拾錢ヲ遞加
ス

第三條 第二條ニ掲クル數種類ヲ一括シテ一通ノ證明書ヲ交付スル場合ハ各種類毎
ニ之ヲ一件トシ二人以上ヲ列記シテ一通ノ證明書ヲ交付スル場合ハ一人一種類毎
ニ之ヲ一件トシ同一種類ニ通以上ヲ交付スル場合ハ一通毎ニ一件トシテ手数料ヲ
徴收ス

第四條 第二條ニ依ル證明書謄本抄本ノ交付又ハ閱覽照合ハ市長ニ於テ之ヲ交付シ
又ハ閱覽照合セシメ差支ナシト認ムルモノニ限ル

第五條 手数料ハ申請ノ際之ヲ徴收ス
手数料ヲ納付シタル後申請事項ヲ變更シ又ハ取消スコトアルモ既納ノ手数料ハ還
付セス

第六條 證明書謄本抄本等ノ郵送ヲ請ハムトスル者ハ手数料ト同時ニ郵送料ヲ前納
スヘシ

第七條 法令又ハ官公署ノ通達ニ基キ處理スルトキ及市長ニ於テ手数料ヲ納付スヘ
キ資力ナシト認ムル者ノ申請ニ基キ處理スルトキハ手数料ヲ徴收セス

附 則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市基本財産蓄積條例

(昭和八年九月十九日決議
全 年十二月六日許可
全 年十一月十一日條例第一四號)

第一條 本市ハ本條例ノ規定ニ依リ昭和八年度以降八十四年度間金貳百萬圓ニ達スル迄基本財産ヲ蓄積ス

第二條 毎年度市費ヨリ金參千圓及左ノ收入ハ基本財産トシテ蓄積スルモノトス

- 一、基本財産ヨリ生スル收入
- 二、指定寄附金

第三條 天災事變ニ遭遇シタル爲又ハ公債ヲ起シ其ノ償還ヲ了スル迄ノ間ニシテ市税住民ノ負担ニ堪ヘスト認ムル年度ニ於テハ市會ノ議決ヲ經テ第二條(指定寄附金ヲ除ク)ノ蓄積ヲ停止シ若ハ減額スルコトアルヘシ

市税中國税附加税ノ制限外課税ヲ爲ス年度ニ於テ其ノ賦課率カ法定制限率ノ一倍半ヲ超ユルトキハ基本財産ヨリ生スル收入及指定寄附金ヲ除クノ外第二條ノ蓄積ヲ停止ス特別税戸數割ノ制限外課税ヲ爲ス年度ニ於テ其ノ豫算額市税豫算總額ノ

百分ノ四十七ヲ超ユルトキ亦同シ
 市税中國税附加税ノ賦課率カ法定制限率ニ達スルモ仍財源ヲ得ルニ困難ナル年度
 ニ於テハ市會ノ議決ヲ經テ第二條市費ノ蓄積ヲ停止シ若ハ減額スルコトアルヘシ
 特別税戸數割ノ豫算額市税豫算總額ノ百分ノ三十七ニ達シタルトキ亦同シ
 第一項乃至第三項ノ場合ニ於テハ其ノ停止又ハ減額ニ依ル蓄積減少額ヲ補充スル
 ニ至ル迄第一條ノ蓄積年數ヲ延長ス

第四條 基本財産ノ收支精算ノ要領ハ每翌年度ニ於テ之ヲ市内ニ公告ス

附 則

本條例ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス
 従前松阪町基本財産蓄積條例ニ依リ蓄積シ本市ニ引繼キタルモノハ本條例ノ規定ニ
 依リ蓄積シタルモノト看做ス

松阪市基本財産蓄積豫定計畫表

- 一、既蓄積額
 - 内 詳
 - 一、有價證券類面 貳千貳百圓 價額貳千貳百圓
 - 一、預 金 壹千六拾圓六拾四錢八厘
計金參千貳百六拾圓六拾四錢八厘
 - 一、利 率 年四分
- 一、蓄積財源
 - 一、財產 收入 壹百參拾圓四拾貳錢
 - 一、市 費 ヨリ 金參千圓
計金參千壹百參拾圓四拾貳錢
- 一、豫定蓄積額 金貳百萬圓

市基本財産蓄積豫定表		(既蓄積二、二六〇、六四八)	
年 度	積 立 金	財産ヨリ生スル 収入	年度末現在計
昭和八年度	三、〇〇〇〇〇	一三〇四二	六、三九一〇六八
九年度	三、〇〇〇〇〇	二五五六四	九、六四六七〇八
十年度	三、〇〇〇〇〇	三八五八六	一三、〇三二五六八
十一年度	三、〇〇〇〇〇	五二二二〇	一六、五五三八六八
十二年度	三、〇〇〇〇〇	六六二二五	二〇、二一六〇一八
十三年度	三、〇〇〇〇〇	八〇八六四	二四、〇二四六五八
十四年度	三、〇〇〇〇〇	九六〇九八	二七、九八五六三八
十五年度	三、〇〇〇〇〇	一一、一九九二	三二、一〇五〇五八
十六年度	三、〇〇〇〇〇	一、二八四二〇	三六、三八九二九八

十七年度	三、〇〇〇〇〇	一、四五五五七	四〇、八四四八二八
十八年度	三、〇〇〇〇〇	一、六三三七九	四九、四七八六一八
十九年度	三、〇〇〇〇〇	一、八一九二四	五〇、二九七七五八
二十年度	三、〇〇〇〇〇	二、〇二一九一	五五、三〇九六六八
廿一年度	三、〇〇〇〇〇	二、二二三三八	六〇、五三〇四八
廿二年度	三、〇〇〇〇〇	二、四〇二八八	六五、九四三九二八
廿三年度	三、〇〇〇〇〇	二、六三七七一	七一、五八〇六三八
廿四年度	三、〇〇〇〇〇	二、八六三三二	七七、四四三八五八
廿五年度	三、〇〇〇〇〇	三、〇九七五五	八三、五四二六〇八
廿六年度	三、〇〇〇〇〇	三、三四一六六	八九、八八三二六八
廿七年度	三、〇〇〇〇〇	三、五九五三三	九六、四七八五九八

卅八年度	三、〇〇〇〇〇〇	七、一五三二〇	一八八、九八三三六
卅七年度	三、〇〇〇〇〇〇	六、七六二六九	一七八、八三〇二八
卅六年度	三、〇〇〇〇〇〇	六、三八七二〇	一六九、〇六七四八
卅五年度	三、〇〇〇〇〇〇	六、〇二六一六	一五九、六八〇二四八
卅四年度	三、〇〇〇〇〇〇	五、六七九〇〇	一五〇、六五四〇八八
卅三年度	三、〇〇〇〇〇〇	五、三四五一九	一四一、九五〇八八
卅二年度	三、〇〇〇〇〇〇	五、〇四三三	一三三、六二九八九八
卅一年度	三、〇〇〇〇〇〇	四、七二五六〇	一二五、六〇五六七八
三十年度	三、〇〇〇〇〇〇	四、四一八八四	一二七、八九〇〇七八
廿九年度	三、〇〇〇〇〇〇	四、一三三五〇	一一〇、四七二二三八
廿八年度	三、〇〇〇〇〇〇	三、八五九二四	一〇三、三三七七八

卅九年度	三、〇〇〇〇〇〇	七、五九九三三	一九九、五四二六六八
四十年度	三、〇〇〇〇〇〇	七、九八二七〇	二二〇、五四三六八
四十一年度	三、〇〇〇〇〇〇	八、四二〇九七	三三一、九四三三三六
四十二年度	三、〇〇〇〇〇〇	八、八七七八一	三三三、八三三四八
四十三年度	三、〇〇〇〇〇〇	九、三五二九二	三四六、一七〇六八
四十四年度	三、〇〇〇〇〇〇	九、八四七〇四	三五九、〇三三〇八
四十五年度	三、〇〇〇〇〇〇	一〇、三六〇九二	三七一、三八四〇二八
四十六年度	三、〇〇〇〇〇〇	一〇、八九五五六	二八六、二七九三八八
四十七年度	三、〇〇〇〇〇〇	一一、四五二二七	三〇〇、七三〇五五八
四十八年度	三、〇〇〇〇〇〇	一二、〇二九三三	三二五、七五九七七八
四十九年度	三、〇〇〇〇〇〇	一二、六三〇二九	三三一、三九〇二六八

五十年度	三,000,000	三,一五五,六〇〇	三四七,六四九,七六八
五十一年度	三,000,000	一三,九〇五,八三三	三六四,五五一,五九八
五十二年度	三,000,000	一四,五八二,〇〇六	三八二,二三三,六五八
五十三年度	三,000,000	一五,二八五,三三四	四〇〇,四一八,九九八
五十四年度	三,000,000	一六,〇一六,七五五	四一九,四三三,七四八
五十五年度	三,000,000	一六,七七七,四二二	四三九,二二二,一六八
五十六年度	三,000,000	一七,五八八,五二一	四五九,七八二,六八八
五十七年度	三,000,000	一八,三九二,一六六	四八一,一七二,九四八
五十八年度	三,000,000	一九,二四六,九一一	五〇三,四一九,八五八
五十九年度	三,000,000	二〇,一三六,九九	五二六,五五六,六四八
六十年度	三,000,000	二一,〇三二,三二天	五五〇,六一八,〇〇八

六十一年度	三,000,000	二二,〇二四,七五五	五七五,六四三,六五八
六十二年度	三,000,000	二三,〇二五,七四四	六〇一,六六九,三九八
六十三年度	三,000,000	二四,〇六六,七七七	六二八,七三六,一六八
六十四年度	三,000,000	二五,一四九,四四四	六五六,八八五,六〇八
六十五年度	三,000,000	二六,二七五,四三二	六八六,一六一,〇二八
六十六年度	三,000,000	二七,四四六,四四四	七二六,六〇七,四六八
六十七年度	三,000,000	二八,六六四,三九九	七四八,二七二,七五八
六十八年度	三,000,000	二九,九三〇,八七七	七八一,二〇二,六二八
六十九年度	三,000,000	三一,二四八,一一〇	八一五,四五〇,七七八
七十年度	三,000,000	三二,六一八,〇二二	八五二,〇六八,七四八
七十一年度	三,000,000	三四,〇四二,三七四	八八八,一二四,八八八

松阪市小學校基本財産蓄積條例

昭和八年九月十九日決議
十二月六日許可
十二月十一日條例第一五號

第一條 本市ハ本條例ノ規定ニ依リ其ノ收入ヲ以テ小學校費ヲ支辨シ得ルニ至ル迄
毎年度小學校基本財産ヲ蓄積ス

第二條 左ノ收入ハ小學校基本財産トシテ蓄積ス

- 一、小學校基本財産ヨリ生スル收入
- 二、指定寄附金
- 三、前各號ノ外市會ニ於テ議決シタルモノ

第三條 天災事變ニ遭遇シタル爲又ハ公債ヲ起シ其ノ償還ヲ了スル迄ノ間ニシテ市
税住民ノ負担ニ堪ヘスト認ムル年度ニ於テハ市會ノ決議ヲ經テ第二條ノ蓄積（指
定寄附金ヲ除ク）ヲ停止シ若ハ減額スルコトアルヘシ
市税中國税附加税ノ制限外課税ヲナス年度ニ於テ其ノ賦課率ノ法定制限率ノ一倍
半ヲ超ユルトキハ第二條（指定寄附金ヲ除ク）蓄積ヲ停止ス特別税戸數割ノ制限

外課税ヲ爲ス年度ニ於テ其ノ豫算額市税豫算總額ノ百分ノ四十七ヲ超ユルトキ亦同シ

第四條 本基本財産ノ收支精算ノ要領ハ毎翌年度ニ於テ之ヲ市内ニ公告ス

附 則

本條例ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス

従前松阪町小學校基本財産蓄積條例ニ依リ蓄積シ本市ニ引繼キタルモノハ本條例ニ依リ蓄積シタルモノト看做ス

小學校基本財産蓄積豫定表

一、既蓄積額 金四千貳拾圓拾八錢

内 詳

一、有價證券 金參千百四拾圓

一、預 金 金八百八拾圓拾八錢

一、利 率 年四分

一、蓄積財源

一、財産ヨリ生スル收入 金百六拾圓八拾錢

一、蓄積豫定額 金貳百貳拾五萬壹千圓

小學校基本財産蓄積豫定表

(既蓄積額) 四、〇二〇、一八

年 度	積 立 金	財産ヨリ生スル 収入	年度末現在計
昭和八年度	〇	一六〇八〇	四、一八〇九八
全 九年度	〇	一六七三三	四、三四八三一
全 十年度	〇	一七三九二	四、五二二二三
全 十一年度	〇	一八〇八八	四、七〇三〇一
全 十二年度	〇	一八八三二	四、八九二一三
全 十三年度	〇	一九五六四	五、〇八六七七
全 十四年度	〇	二〇三四七	五、二九〇一四
全 十五年度	〇	二二一六〇	五、五〇一八四
全 十六年度	〇	二二〇〇七	五、七二一九二

全 十七年度	〇	二三八八七	五、九五〇七八
全 十八年度	〇	二三八〇三	六、一八八八一
全 十九年度	〇	二四七九五	六、四三六三六
全 二十年度	〇	二五七四五	六、六九三八二
全 二十一年度	〇	二六七五五	六、九六一五六
全 二十二年度	〇	二七八四六	七、二四〇〇二
全 二十三年度	〇	二八九六〇	七、五二九六二
全 二十四年度	〇	三〇二一八	七、八三〇八〇
全 二十五年度	〇	三一二二三	八、一四四〇三
全 二十六年度	〇	三二五七六	八、四六九七九
全 二十七年度	〇	三三八七九	八、八〇八五八

全	二十八年度	〇	三五三〇四	九、一六〇九二
全	二十九年度	〇	三六六四三	九、五七三三五
全	三十年度	〇	三八一九	九、九〇八四四
全	三十一年度	〇	三九六三三	一〇、三〇四七七
全	三十二年度	〇	四二一九	一〇、七二六九六
全	三十三年度	〇	四二八六七	一一、一四五六三
全	三十四年度	〇	四四五八二	一一、五九一四五
全	三十五年度	〇	四六三六五	一二、〇五五〇〇
全	三十六年度	〇	四八二二〇	一二、五三七三〇
全	三十七年度	〇	五〇二四九	一三、〇三八七九
全	三十八年度	〇	五二二五五	一三、五六〇三四

全	三十九年度	〇	五四二四二	一四、一〇二七五
全	四十年度	〇	五六四二一	一四、六六八八六
全	四十一年度	〇	五八六六七	一五、二五三三三
全	四十二年度	〇	六一〇二四	一五、八六三六七
全	四十三年度	〇	六三四五四	一六、四九八二一
全	四十四年度	〇	六五九九二	一七、一五八二三
全	四十五年度	〇	六八六三二	一七、八四四四五
全	四十六年度	〇	七三三七七	一八、五五八三二
全	四十七年度	〇	七四二三二	一九、三〇五四
全	四十八年度	〇	七七一〇二	二〇、〇七二五六
全	四十九年度	〇	八〇二九〇	二〇、八七五〇六

全	五十年度	〇	八三五〇一	二二、七〇四七
全	五十一年度	〇	八六八四一	二三、五七八八
全	五十二年度	〇	九〇三二五	二三、四八二〇三
全	五十三年度	〇	九三九二八	二四、四二二三一
全	五十四年度	〇	九七六八五	二五、三九八二六
全	五十五年度	〇	一、〇一五九二	二六、四一四一八
全	五十六年度	〇	一、〇六五五六	二七、四七〇六四
全	五十七年度	〇	一、〇九八八二	二八、五六九四六
全	五十八年度	〇	一、一四三三七	二九、七二二三
全	五十九年度	〇	一、一八八四八	三〇、九〇〇七一
全	六十年度	〇	一、二三六〇一	三二、一三六七三

全	六十一年度	〇	一、二八五四六	三三、四三一九
全	六十二年度	〇	一、三三六八八	三四、七五九〇七
全	六十三年度	〇	一、三九一三六	三六、一四九四三
全	六十四年度	〇	一、四四五七	三七、五九一四〇
全	六十五年度	〇	一、五〇三八一	三九、〇九九二一
全	六十六年度	〇	一、五六三九六	四〇、六六三一七
全	六十七年度	〇	一、六二六五二	四二、二八九六九
全	六十八年度	〇	一、六九二九	四三、九八二二七
全	六十九年度	〇	一、七五九二五	四五、七四〇五二
全	七十年度	〇	一、八二九六三	四七、五七〇一四
全	七十一年度	〇	一、九〇二八〇	四九、四七二九四

全	七十二年度	〇	一、九七八九二	五二、四五二八五
全	七十三年度	〇	二、〇五八〇七	五三、五〇九九二
全	七十四年度	〇	二、一四〇三九	五五、六五〇三二
全	七十五年度	〇	二、二六〇二	五七、八七六三二
全	七十六年度	〇	二、三三〇〇五	六〇、一九一三七
全	七十七年度	〇	二、四〇一六五	六二、五九九〇二
全	七十八年度	〇	二、五〇三九六	六五、一〇二九八
全	七十九年度	〇	二、六〇四一一	六七、七〇七〇九
全	八十年度	〇	二、七〇八二八	七〇、四一五三七
全	八十一年度	〇	二、八一六六一	七三、三二二九八
全	八十二年度	〇	二、九二九二七	七六、一六二二五

全	八十三年度	〇	三、〇四六四五	七九、二〇七七〇
全	八十四年度	〇	三、一六八三〇	八二、三六六〇〇
全	八十五年度	〇	三、二九五〇四	八五、六七二〇四
全	八十六年度	〇	三、四二六八四	八九、〇九七八八
全	八十七年度	〇	三、五六三九一	九二、六六一七九
全	八十八年度	〇	三、七〇六四七	九六、三六八二六
全	八十九年度	〇	三、八五四七三	一〇〇、三三九九
全	九十年度	〇	四、〇〇八九一	一〇四、三三一九〇
全	九十一年度	〇	四、一六九二七	一〇八、四〇二一七
全	九十二年度	〇	四、三六〇〇四	一一三、七七三二二
全	九十三年度	〇	四、五〇九四八	一二七、二四六六九

全	九十四年度	〇	四、六八九八六	一三二、九三六五九
全	九十五年度	〇	四、八七七四六	一三六、八二四〇二
全	九十六年度	〇	五、〇七三五六	一三一、八八六五七
全	九十七年度	〇	五、二七五〇六	一三七、一六二〇三
全	九十八年度	〇	五、四八六四八	一四一、六四八五二
全	九十九年度	〇	五、七〇五九四	一四八、三五四四九
全	百年度	〇	五、九二四二七	一五四、二八八六一
全	百一年度	〇	六、一七二五四	一六〇、四六〇一六
全	百二年度	〇	六、四一八四〇	一六六、八七八五六
全	百三年度	〇	六、六七五一四	一七三、五九三七〇
全	百四年度	〇	六、九四三二四	一八〇、四九八八四

全	百五年度	〇	七、二九八三	一八七、七二五六七
全	百六年度	〇	七、五〇八六一	一九五、二四二九
全	百七年度	〇	七、八〇八七九	二〇三、〇三三二六
全	百八年度	〇	八、一二二三三	二一一、一五四九九
全	百九年度	〇	八、四四六一八	二二九、六〇七七
全	百十年度	〇	八、七八四〇三	二三八、三八四八〇
全	百十一年度	〇	九、一三五三九	二三七、五二〇一九
全	百十二年度	〇	九、五〇〇八〇	二四七、〇二〇九九
全	百十三年度	〇	九、八八〇八三	二五六、九〇二八二
全	百十四年度	〇	一〇、二七六〇七	二六七、一七七八九
全	百十五年度	〇	一〇、六八七三二	二五七、八六五〇〇

全	百十六年度	〇	一一、一四六〇	二八、九七六〇
全	百十七年度	〇	一一、五九二八	三〇、五二八八
全	百十八年度	〇	一二、〇二五五	三二、五〇三三
全	百十九年度	〇	一二、五〇三三	三三、〇六二七
全	百二十年度	〇	一三、〇〇二五	三三、〇六五二
全	百廿一年度	〇	一三、五二六〇	三三、五八七四
全	百廿二年度	〇	一四、〇六三二	三三、五八三三
全	百廿三年度	〇	一四、六六〇五	三三、〇二七七
全	百廿四年度	〇	一五、二二〇九	三三、五八八九
全	百廿五年度	〇	一五、八一九三	三四、一三〇八
全	百廿六年度	〇	一六、四三三三	三四、七六二四

全	百廿七年度	〇	一七、一〇八一	三四、八七〇七
全	百廿八年度	〇	一七、九四八三	三四、六六五八
全	百廿九年度	〇	一八、五〇六三	三四、一七三〇
全	百三十年度	〇	一九、二四六八	三四、〇四九八
全	百卅一年度	〇	二〇、〇二六六	三四、四三三四
全	百卅二年度	〇	二〇、八七四三	三四、一三三七
全	百卅三年度	〇	二一、六五〇三	三四、九三三〇
全	百卅四年度	〇	二二、五二二三	三五、四一九三
全	百卅五年度	〇	二三、四一七八	三六、八三三二
全	百卅六年度	〇	二四、三三四五	三三、一八九六
全	百卅七年度	〇	二五、三三九九	三六、五七三三

全 百卅八年度	〇	二六、三四〇六九	六八四、八五八〇四
全 百卅九年度	〇	二七、三九四三三	七二二、二五二二六
全 百四十年度	〇	二八、四九〇〇九	七四〇、七四二四七
全 百四十一年度	〇	二九、六二九六九	七七〇、三七二一四
全 百四十二年度	〇	三〇、八一四八八	八〇一、一八七〇二
全 百四十三年度	〇	三一、〇四七七八	八三三、三三四五〇
全 百四十四年度	〇	三三、三九二八	八六六、五三三八
全 百四十五年度	〇	三四、六六二五五	九〇一、二六四三
全 百四十六年度	〇	三六、〇四九〇五	九三七、二七五四八
全 百四十七年度	〇	三七、四九一〇二	九七四、七六六四九
全 百四十八年度	〇	三八、九九〇六五	一、〇一三、七五七一四

全 百四十九年度	〇	四〇、五五〇二八	一、〇五四、三〇七四二
全 百五十年度	〇	四一、一七三二九	一、〇九六、四七九七一
全 百五十一年度	〇	四三、八五九一八	一、一四〇、三三八八九
全 百五十二年度	〇	四五、六二三五五	一、一八五、九五二四四
全 百五十三年度	〇	四七、四三八〇九	一、二三三、三九〇五三
全 百五十四年度	〇	四九、三三五六一	一、二八一、七二六一五
全 百五十五年度	〇	五一、三〇九〇四	一、三三四、〇三五一九
全 百五十六年度	〇	五三、三八一四〇	一、三八七、三九六五九
全 百五十七年度	〇	五五、四九五八六	一、四四一、八九二四五
全 百五十八年度	〇	五七、七二五六九	一、五〇〇、六〇八一四
全 百五十九年度	〇	六〇、〇三四三三	一、五六〇、六三三四六

全 百六十年度	〇	六二、四五二九	一、六三〇、五七七五
全 百六十一年度	〇	六四、九三三一	一、六八七、九八〇六
全 百六十二年度	〇	六七、五九二〇	一、七五五、四九九六
全 百六十三年度	〇	七〇、二九九七	一、八二五、七一九三
全 百六十四年度	〇	七三、〇二八六	一、八九八、七四七九
全 百六十五年度	〇	七五、九四九一	一、九七四、六九七〇
全 百六十六年度	〇	七八、九八七九	二、〇五三、六八八二
全 百六十七年度	〇	八二、一四七四	二、一三五、八三三四
全 百六十八年度	〇	八五、四三三三	二、二三二、二六六六
全 百六十九年度	〇	八八、八五〇六	二、三〇〇、一七三三

松阪市實業補習學校基本財産蓄積條例

昭和八年九月十九日決議
十二月六日許可
十二月十一日條例第一六號

第一條 本市ハ本條例ノ規定ニ依リ其ノ收入ヲ以テ實業補習學校費ヲ支辨シ得ルニ至ル迄毎年度實業補習學校基本財産ヲ蓄積ス

第二條 左ノ收入ハ實業補習學校基本財産トシテ蓄積ス

- 一、實業補習學校基本財産ヨリ生スル收入
- 二、指定寄附金
- 三、前各號ノ外市會ニ於テ議決シタルモノ

第三條 天災事變ニ遭遇シタル爲又ハ公債ヲ起シ其ノ償還ヲ了スル迄ノ間ニシテ市税住民ノ負担ニ堪ヘスト認ムル年度ニ於テハ市會ノ議決ヲ經テ第二條（指定寄附金ヲ除ク）ノ蓄積ヲ停止シ若ハ減額スルコトアルヘシ

市税中國稅附加稅ノ制限外課稅ヲナス年度ニ於テ其ノ賦課率カ法定制限率ノ一倍半ヲ超ユルトキハ第二條（指定寄附金ヲ除ク）ノ蓄積ヲ停止ス特別稅戶數割ノ制

課税外課税ヲ爲ス年度ニ於テ其ノ豫算額市税豫算總額ノ百分ノ四十七ヲ超ユルトキ亦同シ

第四條 本基本財産ノ收支精算ノ要領ハ毎翌年度ニ於テ之ヲ市内ニ公告ス

附 則

本條例ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス
從前松阪町實業補習學校基本財産蓄積條例ニ依リ蓄積シ本市ニ引繼キタルモノハ本條例ニ依リ蓄積シタルモノト看做ス

實業補習學校基本財産蓄積豫定表

- 一、既蓄積額 金四百參拾四圓四拾六錢
- 内 譯
 - 一、有價證券 金壹百圓
 - 一、預 金 金壹百參拾四圓四拾六錢
 - 一、利 率 年四分
- 一、蓄積財源
 - 一、財産ヨリ生スル收入金拾七圓參拾七錢
 - 一、蓄積豫定額 金拾六萬參千壹百圓

實業補習學校基本財産蓄積豫定表 (既蓄積額) 四三四、四六^円

年 度	積 立 金	財産ヨリ生スル 収入	年度末現在計
昭和 八年度	〇	一七三七	四五一八三
全 九年度	〇	一八〇七	四六九九〇
全 十年度	〇	一八七九	四八八六九
全 十一年度	〇	一九五四	五〇八二三
全 十二年度	〇	二〇三三	五二八五六
全 十三年度	〇	二二二四	五四九六九
全 十四年度	〇	二二九八	五七二六七
全 十五年度	〇	二三六六	五九四九三
全 十六年度	〇	二四七八	六一八三二

全 十七年度	〇	二四七三	六四三〇四
全 十八年度	〇	二五七二	六六八七六
全 十九年度	〇	二六七五	六九五五一
全 二十年度	〇	二七八二	七二三三三
全 二十一年度	〇	二八九三	七五二二六
全 二十二年度	〇	三〇〇九	七八二三五
全 二十三年度	〇	三一二九	八一三六四
全 二十四年度	〇	三二五四	八四六一八
全 二十五年度	〇	三三八四	八八〇〇二
全 二十六年度	〇	三三二〇	九一五二二
全 二十七年度	〇	三三六〇	九五二八二

全	二十八年度	〇	三八〇七	九八九八
全	二十九年度	〇	三九九九	一、〇二九四八
全	三十年度	〇	四二二七	一、〇七〇六五
全	三十一年度	〇	四二八二	一、一三三四七
全	三十二年度	〇	四四三三	一、一五八〇〇
全	三十三年度	〇	四六三二	一、二〇四三二
全	三十四年度	〇	四八二七	一、二五二四九
全	三十五年度	〇	五〇〇九	一、三〇二九八
全	三十六年度	〇	五二一〇	一、三五四六八
全	三十七年度	〇	五四二八	一、四〇八八六
全	三十八年度	〇	五六三五	一、四六五二二

全	三十九年度	〇	五八六〇	一、五三三八二
全	四十年度	〇	六〇九六	一、五八四七六
全	四十一年度	〇	六三九六	一、六四八一五
全	四十二年度	〇	六九七三	一、七四〇〇七
全	四十三年度	〇	六八五六	一、七八二六〇
全	四十四年度	〇	七二三〇	一、八三三九七
全	四十五年度	〇	七四二五	一、八八八〇八
全	四十六年度	〇	七七一三	一九〇〇五〇
全	四十七年度	〇	八〇三〇	二、〇八三四〇
全	四十八年度	〇	八三四二	二、一六八八二
全	四十九年度	〇	八六七五	二、二五五七六

全	五十年度	〇	九(三)	二、三四五七六
全	五十一年度	〇	九三八三	二、四三九六一
全	五十二年度	〇	九七五八	二、五三七一九
全	五十三年度	〇	一〇二四八	二、六三八六七
全	五十四年度	〇	一〇五五四	二、七四四二二
全	五十五年度	〇	一〇九七六	二、八九三九七
全	五十六年度	〇	一一四一五	二、九六八二二
全	五十七年度	〇	一二八七二	三、〇八六八四
全	五十八年度	〇	一三三四七	三、二一〇三二
全	五十九年度	〇	一三八四一	三、三三八七二
全	六十年度	〇	一三三五四	三、四七二二六

全	六十一年度	〇	一三八八九	三、六一二二五
全	六十二年度	〇	一四四四四	三、七五五五九
全	六十三年度	〇	一五〇三三	三、九〇九八一
全	六十四年度	〇	一五六三三	四、〇六二〇四
全	六十五年度	〇	一六二四八	四、二一四二二
全	六十六年度	〇	一六八九九	四、三九三三〇
全	六十七年度	〇	一七五七四	四、五六九二四
全	六十八年度	〇	一八二二六	四、七五二〇〇
全	六十九年度	〇	一九〇〇八	四、九四二〇八
全	七十年度	〇	一九七六八	五、一三九七六
全	七十一年度	〇	二〇五九九	五、三四五二五

全	七十二年度	〇	二二,八二二	五,五九一六
全	七十三年度	〇	二二,二五六	五,五八一六
全	七十四年度	〇	二二,一三六	六,〇三二九
全	七十五年度	〇	二四,〇五二	六,二五三九
全	七十六年度	〇	二五,〇二五	六,五〇四二
全	七十七年度	〇	二六,〇二五	六,七六三九
全	七十八年度	〇	二七,〇五四	七,〇三四九
全	七十九年度	〇	二八,二五六	七,三三五四
全	八十年度	〇	二九,二六一	七,六〇八六
全	八十一年度	〇	三〇,四三三	七,九二二六
全	八十二年度	〇	三二,六四九	八,二八八七

全	八十三年度	〇	三二,九五五	八,五九〇三
全	八十四年度	〇	三四,三三三	八,九〇三四
全	八十五年度	〇	三五,六〇一	九,二五六五
全	八十六年度	〇	三七,〇二五	九,六六六〇
全	八十七年度	〇	三八,五〇六	一〇,〇二六六
全	八十八年度	〇	四〇,〇四六	一〇,四二二二
全	八十九年度	〇	四一,六四八	一〇,八二六〇
全	九十年度	〇	四三,二二四	一一,二六一七
全	九十一年度	〇	四五,〇四六	一一,七二二二
全	九十二年度	〇	四六,八四八	一二,一八〇六
全	九十三年度	〇	四八,七三三	一二,六六九九

全	九十四年度	〇	五〇六七一	一三、一七四六一
全	九十五年度	〇	五二六九八	一三、七〇二五九
全	九十六年度	〇	五四八〇六	一四、二四九六五
全	九十七年度	〇	五六九九八	一四、八一九六三
全	九十八年度	〇	五九二七八	一五、四二三四一
全	九十九年度	〇	六一六四九	一六、〇二八九〇
全	百年度	〇	六四二二五	一六、六七〇〇五
全	百一年度	〇	六六六八〇	一七、三六八八五
全	百二年度	〇	六九三四七	一八、〇三〇三二
全	百三年度	〇	七二二二二	一八、七五一九三
全	百四年度	〇	七五〇〇六	一九、五〇一五九

全	百五年度	〇	七八〇〇六	二〇、二八一六五
全	百六年度	〇	八二二二六	二一、〇九二九一
全	百七年度	〇	八四三七一	二一、九三六六二
全	百八年度	〇	八七四四六	二二、八四〇〇八
全	百九年度	〇	九二二六六	二三、七二六六四
全	百十年度	〇	九四九〇六	二四、六七五七〇
全	百十一年度	〇	九八七〇二	二五、六六二七二
全	百十二年度	〇	一、〇二九五〇	二六、六八九三三
全	百十三年度	〇	一、〇六七六六	二七、七五六七八
全	百十四年度	〇	一、一一〇二七	二八、八六七〇五
全	百十五年度	〇	一、一五四六八	三〇、〇二二三三

全	百十六年度	〇	一、二〇〇六六	三一、二三五九
全	百十七年度	〇	一、二四八九〇	三一、四七一四九
全	百十八年度	〇	一、二九八八五	三三、七〇三四
全	百十九年度	〇	一、三九〇八一	三五、二二二五
全	百二十年度	〇	一、四〇四八四	三六、五二九九
全	百廿一年度	〇	一、四六一〇三	三七、九八七〇
全	百廿二年度	〇	一、五一九四八	三九、五〇六五〇
全	百廿三年度	〇	一、五八〇二六	四一、〇六六七六
全	百廿四年度	〇	一、六四三三七	四二、七三〇三三
全	百廿五年度	〇	一、七〇九二〇	四四、四三九四三
全	百廿六年度	〇	一、七七七五七	四六、二七〇〇〇

全	百廿七年度	〇	一、八四八六八	四八、〇六五六八
全	百廿八年度	〇	一、九三二六二	四九、九八八三〇
全	百廿九年度	〇	一、九九九五三	五一、九八七八三
全	百三十年度	〇	二、〇七九五二	五四、〇六七三四
全	百卅一年度	〇	二、一六二六九	五六、二二〇〇三
全	百卅二年度	〇	二、二四九三〇	五八、四七九三三
全	百卅三年度	〇	二、三三九一六	六〇、八一八三九
全	百卅四年度	〇	二、四三二七三	六三、二五二二二
全	百卅五年度	〇	二、五三〇〇四	六五、七八二二六
全	百卅六年度	〇	二、六三二二四	六八、四二二四〇
全	百卅七年度	〇	二、七四六四七	七一、一四八八九

全百卅八年度	〇	二、八四五九五	七三、九九四八四
全百卅九年度	〇	二、九九九七九	七六、九五四六三
全百四十年度	〇	三、〇七八一八	八〇、〇三二八一
全百四十一年度	〇	三、二〇一三一	八三、二三四二二
全百四十二年度	〇	三、三二九三六	八六、五六三三八
全百四十三年度	〇	三、四六二五三	九〇、〇二六〇一
全百四十四年度	〇	三、六〇一〇四	九三、六二七〇五
全百四十五年度	〇	三、七四五〇八	九七、三七二二三
全百四十六年度	〇	三、八九四八八	一〇一、二六七〇一
全百四十七年度	〇	四、〇五〇六八	一〇五、三二七六九
全百四十八年度	〇	四、二二七〇〇	一〇九、五三〇三九

全百四十九年度	〇	四、三八二二二	一一三、九二二六〇
全百五十年度	〇	四、五五六四六	一二八、四六八〇六
全百五十一年度	〇	四、七三七八二	一三三、一〇六七八
全百五十二年度	〇	四、九二八二七	一三八、二五〇〇五
全百五十三年度	〇	五、一二五四〇	一三三、二六〇四五
全百五十四年度	〇	五、三三〇四一	一三八、五九〇八六
全百五十五年度	〇	五、五四三六三	一四四、一三四四九
全百五十六年度	〇	五、七六五三七	一四九、八九九八六
全百五十七年度	〇	五、九九五九九	一五五、八九五八五
全百五十八年度	〇	六、二二五八三	一六二、一三二六八
全百五十九年度	〇	六、四八五二六	一六八、六一六九四

限外課税ヲ爲ス年度ニ於テ其ノ豫算額市税豫算總額ノ百分ノ四十七ヲ超ユルトキ亦同シ

第四條 本基本財産ノ收支精算ノ要領ハ毎翌年度ニ於テ之ヲ市内ニ公告ス

附 則

本條例ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス

従前松阪町幼稚園基本財産蓄積條例ニ依リ蓄積シ本市ニ引繼キタルモノハ本條例ニ依リ蓄積シタルモノト看做ス

幼稚園基本財産蓄積豫定表

- 一、既蓄積額 金四百五拾九圓貳拾貳錢
- 内 譯
- 一、有價證券 金百圓
- 一、預 金 金參百五拾九圓貳拾貳錢
- 一、利 率 年四分
- 一、蓄積財源
- 一、財産ヨリ生スル收入金拾八圓參拾六錢
- 一、蓄積豫定額 金七萬五拾圓

年 度	積 立 金	幼稚園基本財産蓄積豫定表	
		財 産 ヨ リ 生 ス ル 收 入	(既蓄積額) 四五九、二二一
昭和八年度	〇	一八三六	四七五八
全 九 年 度	〇	一九一〇	四九六六八
全 十 年 度	〇	一九八六	五一六五四
全 十 一 年 度	〇	二〇六六	五二七二〇
全 十 二 年 度	〇	二一四八	五三八六八
全 十 三 年 度	〇	二二三四	五八二〇二
全 十 四 年 度	〇	二三二四	六〇四二六
全 十 五 年 度	〇	二四一七	六二八四三
全 十 六 年 度	〇	二五二三	六五二五六

年度末現在計

四五九、二二一

全 十 七 年 度	〇	二六一四	六七九七〇
全 十 八 年 度	〇	二七二八	七〇六八八
全 十 九 年 度	〇	二八二七	七二五二五
全 二 十 年 度	〇	二九四〇	七六四五五
全 二 十 一 年 度	〇	三〇五八	七九五二三
全 二 十 二 年 度	〇	三二八〇	八二六九三
全 二 十 三 年 度	〇	三三〇七	八六〇〇〇
全 二 十 四 年 度	〇	三四四〇	八九四四〇
全 二 十 五 年 度	〇	三五七七	九三〇一七
全 二 十 六 年 度	〇	三七二〇	九六七三七
全 二 十 七 年 度	〇	三八六九	一、〇〇六〇六

全	二十八年度	〇	四〇三四	一、〇四六二〇
全	二十九年度	〇	四二八五	一、〇八八二五
全	三十年度	〇	四三三三	一、一三二六七
全	三十一年度	〇	四四二六	一、一七六九三
全	三十二年度	〇	四七〇七	一、二三四〇〇
全	三十三年度	〇	四八九六	一、二七二六六
全	三十四年度	〇	五〇九二	一、三三三八七
全	三十五年度	〇	五二九五	一、三七六八二
全	三十六年度	〇	五五〇七	一、四三二八九
全	三十七年度	〇	五七二七	一、四八九二六
全	三十八年度	〇	五九六六	一、五四八七二

今	三十九年度	〇	六一九四	一、六一〇六六
全	四十年度	〇	六四四二	一、六七五〇八
全	四十一年度	〇	六七〇〇	一、七四二〇八
全	四十二年度	〇	六九六八	一、八二二七六
全	四十三年度	〇	七二四七	一、八八四三三
全	四十四年度	〇	七五三六	一、九五九五九
全	四十五年度	〇	七八三八	二、〇三七九七
全	四十六年度	〇	八一五一	二、一四九四八
全	四十七年度	〇	八四七七	二、二〇四三五
全	四十八年度	〇	八八一七	二、二九三四二
全	四十九年度	〇	九二六九	二、三八四二二

全	五十年度	〇	九五三六	二、四七九四七
全	五十一年度	〇	九九一七	二、五七八六四
全	五十二年度	〇	一〇三三四	二、六八二六八
全	五十三年度	〇	一〇七二七	二、七八九〇五
全	五十四年度	〇	一一一五六	二、九〇〇六一
全	五十五年度	〇	一一六〇二	三、〇一六六三
全	五十六年度	〇	一二〇六六	三、一三七二九
全	五十七年度	〇	一二五〇九	三、二六二七六
全	五十八年度	〇	一三〇五一	三、三九三二九
全	五十九年度	〇	一三五七三	三、五二九〇二
全	六十年度	〇	一四一六	三、六七〇一八

全	六十一年度	〇	一四六八〇	三、八六八九
全	六十二年度	〇	一五二六七	三、九六九六五
全	六十三年度	〇	一五八七八	四、一八四三
全	六十四年度	〇	一六五三三	四、二九三五六
全	六十五年度	〇	一七二七四	四、四〇五三〇
全	六十六年度	〇	一七九六一	四、六四三九一
全	六十七年度	〇	一八五七五	四、八八九六六
全	六十八年度	〇	一九三二八	五、〇三三八四
全	六十九年度	〇	二〇〇九二	五、二二三七五
全	七十年度	〇	二〇八九五	五、四三三七〇
全	七十一年度	〇	二一七三〇	五、六五〇〇〇

全	七十二年度	〇	二六〇〇	五、八七、〇〇〇
全	七十三年度	〇	二五〇四	六、一一、〇〇〇
全	七十四年度	〇	二四四四	六、三五、四〇八
全	七十五年度	〇	二五四二	六、六〇、九六九
全	七十六年度	〇	二六四六	六、八七、〇〇七
全	七十七年度	〇	二七四六	七、一四、九〇三
全	七十八年度	〇	二八五六	七、四三、四九九
全	七十九年度	〇	二九七九	七、七三、三三八
全	八十年度	〇	三〇九元	八、〇四、一六七
全	八十一年度	〇	三二六六	八、四三、三三三
全	八十二年度	〇	三四五三	八、六九、七八六

全	八十三年度	〇	三四七九	九、〇四、五七七
全	八十四年度	〇	三六一八	九、四〇、七六〇
全	八十五年度	〇	三七六三〇	九、七八、三九〇
全	八十六年度	〇	三九二五	一〇、一七、五二五
全	八十七年度	〇	四〇七一	一〇、五八、二二六
全	八十八年度	〇	四三二九	一一、〇〇、五五九
全	八十九年度	〇	四四〇三	一一、四四、五七七
全	九十年度	〇	四五七三	一二、九〇、三六〇
全	九十一年度	〇	四七二四	一三、三七、九七四
全	九十二年度	〇	四九五八	一三、八七、四九二
全	九十三年度	〇	五二九九	一三、三九、九九二

全	九十四年度	〇	五三五五九	一三、九二五五〇
全	九十五年度	〇	五五七〇二	一四、四八二五二
全	九十六年度	〇	五七九三〇	一五、〇六一八二
全	九十七年度	〇	六〇二四七	一五、六六四一九
全	九十八年度	〇	六二六五七	一六、二九〇八六
全	九十九年度	〇	六五一六三	一六、九四二四九
全	百年度	〇	六七七六九	一七、六二〇二八
全	百一年度	〇	七〇四八〇	一八、三三四九八
全	百二年度	〇	七三三九九	一九、〇五七九七
全	百三年度	〇	七六三三一	一九、八二〇二八
全	百四年度	〇	七九二八一	二〇、六二〇〇九

全	百五年度	〇	八二四五二	二一、四三七六一
全	百六年度	〇	八五七五〇	二二、二九五一一
全	百七年度	〇	八九二八〇	二三、一八六九二
全	百八年度	〇	九二七四七	二四、一四三三八
全	百九年度	〇	九六四三七	二五、〇七八九五
全	百十年度	〇	一、〇〇三二五	二六、〇八二一〇
全	百十一年度	〇	一、〇四三二八	二七、二五三三八
全	百十二年度	〇	一、〇八五〇一	二八、二〇三三九
全	百十三年度	〇	一、二八四二二	二九、三三八八〇
全	百十四年度	〇	一、二七三五五	三〇、五二二三五
全	百十五年度	〇	一、三〇四九九	三一、七三三八四

全	百十六年度	〇	一、二九九三	三三、〇〇三
全	百十七年度	〇	一、三〇〇八	三四、三三三
全	百十八年度	〇	一、三七二八	三五、六九二
全	百十九年度	〇	一、四二七〇	三七、二二九
全	百二十年度	〇	一、四八四九	三八、六〇七
全	百廿一年度	〇	一、五四三二	四〇、一五三
全	百廿二年度	〇	一、六〇六八	四一、七六二
全	百廿三年度	〇	一、六七〇三	四三、四八五
全	百廿四年度	〇	一、七三七四	四五、一六五
全	百廿五年度	〇	一、八〇六二	四六、九七三
全	百廿六年度	〇	一、八六八九	四八、八五二

全	百廿七年度	〇	一、九五〇四	五〇、八五三
全	百廿八年度	〇	二、〇三二〇	五二、八七四
全	百廿九年度	〇	二、一三四九	五四、九五〇
全	百三十年度	〇	二、一九八三	五七、一四九
全	百卅一年度	〇	二、二八五五	五九、四四八
全	百卅二年度	〇	二、三七三九	六一、八二二
全	百卅三年度	〇	二、四七四九	六四、二八四
全	百卅四年度	〇	二、五七三九	六六、八五六
全	百卅五年度	〇	二、六七二四	六九、五三〇
全	百卅六年度	〇	二、七六三二	七二、三二六

松阪市罹災救助資金蓄積條例

(昭和八年九月十九日決議
同九年一月六日許可
同九年一月十七日條例第一號)

- 第一條 本市ハ罹災救助基金法第二條ノ規定ニ該當セサル場合ニ於ケル本市住民ノ災害ニ罹リタル者ヲ救助スル爲メ罹災救助資金ヲ設ク
 - 第二條 本資金ハ金拾萬圓ニ達スル迄毎年度金參千圓以上ヲ支出シ之ニ縣ヨリ受ケタル補助金ヲ合セテ蓄積ス
 - 第三條 本資金ヨリ生スル收入ハ罹災救助費ニ充テ尙殘餘アルトキハ之ヲ元資ニ編入ス但シ三重縣市町村罹災救助資金監督規程第五條ノ二及昭和七年十一月二十四日三重縣令第五十八號附則第二項ニ當ル場合ハ此ノ限ニ在ラス
 - 第四條 天災事變ニ遭遇シタル爲メ又ハ公債ヲ起シ其ノ償還ヲ了スル迄ノ間ニシテ市税住民ノ負担ニ堪ヘスト認ムル年度ニ於テハ市會ノ議決ヲ經テ第二條ノ蓄積ヲ停止シ又ハ減額スルコトアルヘシ
- 市税中國税附加税ノ制限外課税ヲナス年度ニ於テ其ノ賦課率カ法定制限率ノ一倍

半ヲ超ユルトキハ第二條ノ蓄積ヲ停止ス特別稅戶數割ノ制限外課稅ヲ爲ス年度ニ於テ其ノ豫算額市稅豫算總額百分ノ四十七ヲ超ユルトキ亦同シ

第五條 本資金ノ收支精算ノ要領ハ每翌年度ニ於テ之ヲ市内ニ公告ス

附 則

本條例ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス

從前松阪町罹災救助資金蓄積條例ニ依リ蓄積シ本市ニ引繼キタルモノハ本條例ノ規定ニ依リ蓄積シタルモノト看做ス

罹災救助資金蓄積豫定表

一、既蓄積額 金壹萬貳千七百八拾貳圓貳拾九錢貳厘

内 譯

一、有價證券 金壹萬百六拾圓

一、預 金 金貳千六百貳拾貳圓貳拾九錢貳厘

一、利 率 年四分

一、蓄積財源

一、財產ヨリ生スル收入 金五百拾壹圓貳拾九錢

一、市費ヨリ 金參千圓

一、縣費補助金 金參千圓

計金六千五百拾壹圓貳拾九錢

一、豫定蓄積額 金拾萬圓

罹災救助資金蓄積豫定表

(既蓄積一、二、七八二、二九二)

年 度	積 立 金	財 産 生 産 収 入	年 度 末 現 在 計
昭和八年度	六、〇〇〇〇	五二二九	一九、二九三、五八二
全 九 年 度	六、〇〇〇〇〇	七二七四	二六、〇六五、三三三
全 十 年 度	六、〇〇〇〇〇	一、〇四二、六一	三三、一〇七、九三三
全 十 一 年 度	六、〇〇〇〇〇	一、三三四、三二	四〇、四三三、四三三
全 十 二 年 度	六、〇〇〇〇〇	一、六七二、八	四八、〇四九、五三三
全 十 三 年 度	六、〇〇〇〇〇	一、九二二、九	五五、九七一、五〇三
全 十 四 年 度	六、〇〇〇〇〇	二、三三八、六	六四、二一〇、一六三
全 十 五 年 度	六、〇〇〇〇〇	二、五六八、四二	七二、七八七、七二二
全 十 六 年 度	六、〇〇〇〇〇	二、九二二、五	八一、六八九、九三二

全 十 七 年 度	六、〇〇〇〇〇	三、二六七、五九	九〇、九五七、五二二
全 十 八 年 度	六、〇〇〇〇〇	三、六三八、三〇	一〇〇、五九五、八二二

松阪市社會事業資金積立金設置規程

(昭和八年九月十九日決議
昭和八年十月十日規程第十四號)

第一條 本市ニ社會事業資金積立金ヲ設置ス

第二條 社會事業資金積立元本ハ之ヲ蓄積シ積立金ヨリ生スル收入ハ之ヲ社會事業費ニ充ツ但シ市ニ於テ將來必要ヲ生シタル場合ハ市會ノ決議ヲ經テ積立金ヲ本事業費ニ充ツルコトヲ得

第三條 左ノ收入ハ社會事業資金積立金トシテ蓄積ス

一、指定寄附金

第四條 本資金ニ關スル收支決算ハ之ヲ市會ノ認定ニ附シ其ノ要領ヲ公告スヘシ

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ施行ス

三井家社會施設救濟事業資金設置規程

昭和八年二月一日告示第六號
昭和八年九月十九日改正決議
昭和八年十月十日規程第十六號

第一條 三井合名會社々長男爵三井八郎右衛門ヨリ寄附アリタル金五萬圓ノ殘額ヲ松阪町ヨリ引繼金ヲ以テ三井家社會施設救濟事業資金ヲ設ク

第二條 本資金ハ本市全般ニ亘ル社會施設トシテ授産場及失業救濟事業ニ充當スルモノトス

第三條 本資金ハ特別會計トシ前條ノ事業ニ充當スル場合ニハ其ノ必要額ヲ一般會計及當該特別會計ニ繰入ルルモノトス

第四條 本資金ハ所定事業費ニ繰入ルル迄ハ別途積立金トシ元本ヨリ生スル利子ハ共ニ之ヲ積立ツルモノトス

積立金ヨリ生スル利子ハ前各條ニ依リ之ヲ處分スルモノトス

第五條 本資金ニ關スル收支決算ハ之ヲ市會ノ認定ニ附シ其ノ要領ヲ公告スヘシ

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市原田小學教育獎勵資金設置規程

（昭和八年二月一日告示第六號
全 年九月十九日改正決議
全 年十月十日規程第十五號）

第一條 財團法人原田積善會創設者故原田二郎ノ素志ニ基キ財團法人原田積善會ヨリ松阪町ニ寄附アリタル大日本帝國も號五分利公債證書額面拾萬圓ヲ本市ニ引繼キ松阪市原田小學教育獎勵資金ヲ設置シ特別會計トス

第二條 本資金ヨリ生スル收入ヲ以テ左ノ小學教育獎勵費ニ支出スルモノトス

- 一、補助ヲ必要トスル家庭ノ兒童ニ對シ教科書學用品其ノ他學習上必要ナリト認メタル物品給與又ハ補助ヲ爲スコト
- 二、体育獎勵ノ施設ニ對シ其ノ經費中へ獎勵金トシテ交付爲スコト
- 三、小學校教育ニ於ケル實業科目及技能ノ施設ニ充當スルコト但シ女子ノ技藝教育ヲ先ニ爲スコト
- 四、疾病又ハ不慮ノ災害ニ因リ補助ヲ必要トスル小學校教員ニ慰藉料ヲ給與スルコト

各年度ニ於ケル歳出剩餘金ハ翌年度ニ繰越前項經費ニ充ツルモノトス毎年度豫算ニ計上シタル經費ノ支出ニ關シテハ市長ノ定ムル所ニ依ル

第三條 毎年度前條ニ定ムル收支決算ハ之ヲ市會ノ認定ニ附シタル後該事業狀況ト共ニ財團法人原田積善會ヘ報告爲スモノトス

附 則

本規程ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス

松阪市基本財産積立金管理規程

(昭和八年十月十一日參決議
全 十二月十一日規程第十八號)

第一條 本市基本財産及積立金ノ管理ハ別ニ規定アルモノヲ除クノ外本規程ノ定ムル所ニ依ル

第二條 基本財産ノ種類ヲ定ムルコト左ノ如シ

一、有價證券

二、金 員

第三條 現金ハ利殖ノ爲郵便貯金ト爲シ又ハ特定預金ト爲シ第四條ノ範圍内ニ於テ有價證券ヲ取得スルコトヲ得

前項ノ特定預金ニ付テハ担保トシテ國債地方債又ハ確實ナル銀行會社ノ株券並債券ヲ徵スルモノトス

第四條 有價證券ノ種類ハ左ノ範圍ヲ出ツルコトヲ得ス但シ從來ヨリ所有スルモノ又ハ寄附ニ依リ取得スルモノハ此ノ限ニ在ラス

一、國債、地方債

二、三重縣農工銀行、日本銀行、橫濱正金銀行、日本勸業銀行、日本興行銀行、南滿洲鐵道株式會社、東洋拓殖株式會社、其ノ他政府ノ特別ノ監督ヲ受クル銀行會社ノ株券並債券

第五條 有價證券ハ記名ト爲シ之ヲ郵便官署又ハ銀行ニ保管ヲ委託スルコトヲ得

附 則

本規程ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス

松阪市原田小學教育獎勵資金管理規程

(昭和八年十月十一日參決議
全 十月二十五日規程第十七號)

第一條 松阪市原田小學教育獎勵資金ハ本規程ニ依リ之ヲ管理ス

第二條 本資金ノ公債證書ニシテ償還ノ場合ハ其ノ償還金ヲ以テ他ノ公債證書ヲ買入レ本資金ニ充ツルモノトス但シ此ノ場合ニ於テ額面ニ對スル買入價格ノ差額ニ餘剩ヲ生シタルトキハ郵便貯金トシテ資金ニ編入スルモノトス

第三條 本資金公債證書ハ日本銀行ニ保管ヲ委託スルモノトス

附 則

本規程ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス

（昭和八年十月十一日決議）
（同九年一月十五日許可）
（同九年一月十七日規程第一號）

松阪市罹災救助資金管理方法

（昭和八年十月十一日決議）
（同九年一月十五日許可）
（同九年一月十七日規程第一號）

第一條 松阪市罹災救助資金ノ管理ニ關シテハ本規程ノ定ムル所ニ依ル

第二條 罹災救助資金ノ運用ハ左ノ範圍ヲ出ツルコトヲ得ス

一、國債地方債又ハ政府ノ特別ノ監督ヲ受クル銀行ノ債券ノ募集ニ應シ若ハ其ノ證券ヲ買入ルルコト

二、大藏省預金若ハ郵便貯金トナスコト

三、担保ヲ徵シテ確實ナル銀行ニ利付預ケト爲スコト

附 則

本規程ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス

本規程ハ臨時入奉對モ之ニモ適用ス

附 則

- 一、 出納モ購込モ贈與モハ、履行ニ附付附々ト爲スルコト
- 二、 大藏省附金若ハ、陸軍附金トナスルコト
- 三、 運送モ買入ハ、ハ、モ
- 一、 附費並衣類又ハ、食料、林服、履物等受入ハ、履行ノ附録ノ表ニ記シ其ノ
- 二、 附費並履物資金、並用ハ、式ノ範圍内出々ハ、モイモ得ス
- 三、 附費並履物資金、並用ハ、式ノ範圍内出々ハ、モイモ得ス

松阪市解災救恤資金管理式

昭和八年二月一日告示第六號

松阪市財產並不用品賣却等隨意契約規程

昭和八年二月一日告示第六號

財產並不用品ノ賣却需用品ノ購買其ノ他努力ノ供給ハ一件金百圓以内ノ場合ハ市制
第百十四條ニ依ルコトナク市長ニ於テ隨意契約ヲ爲スコトヲ得

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市金庫規則

昭和八年二月一日告示第六號

- 第一條 本市現金ノ出納及保管ノ爲メ松阪市金庫ヲ置ク
- 第二條 市金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムヘキ銀行及事務取扱期間並担保ノ種類價格程度ハ別ニ之ヲ定ム
- 第三條 市金庫ハ市役所内ニ之ヲ設置シ市長ニ於テ必要ト認ムル場所ニ支金庫又ハ臨時出張所ヲ設クヘシ
- 第四條 市金庫ノ開庫時間ハ市役所ノ執務時間内トス但至急ヲ要スル仕拂又ハ納期ノ諸收入金ヲ領收スルトキハ此限ニアラス
- 第五條 市金庫ハ收入役ノ通知アルニ非サレハ現金ノ出納ヲ爲スコトヲ得ス
- 第六條 市金庫ニ於テ支拂フヘキ現金ハ特ニ指定スルモノ、外通貨ヲ以テ支拂フヘシ
- 第七條 市金庫事務取扱銀行ハ現金ノ出納保管ニ關シ天災其ノ他不可抗力ニ因ル場合ト雖モ其ノ責任ヲ免ル、コトヲ得ス

第八條 市金庫事務取扱銀行ハ市長ノ許可ヲ經自己責任ヲ以テ他ノ銀行ヲシテ其ノ金庫事務ノ一部ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第九條 市金庫事務取扱ニ關シ市長ノ發スル命令ニ違反シタルトキ又ハ市ノ都合ニ依リ必要アルトキハ隨時其ノ取扱ヲ解除スルコトヲ得之ノ場合ニ於テ損害ヲ及ホスコトアルモ市ハ其ノ責ニ任セス

前項ニ依リ市金庫事務取扱ヲ解除セラレタルトキハ三日以内ニ計算書ヲ提出シ保管金アルトキハ直ニ之ヲ返還スヘシ

第十條 第七條ノ場合ニ於テ其ノ責任ヲ盡ササルトキ及前條第二項ノ保管金ヲ返還セサルトキハ市ハ直ニ担保品ヲ處分スヘシ此ノ場合ニ於テ市金庫事務取扱銀行ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第十一條 市金庫ノ現金中市費ニ屬スルモノニ限り支出ニ妨ナキ限度ニ於テ其ノ運用ヲ許可ス

前項運用金ニ對シテハ利子ヲ徵收ス其ノ利率ハ市長之ヲ定ム

第十二條 市ハ市金庫事務取扱銀行ニ對シ事務取扱手数料ヲ交付ス其ノ金額ハ別ニ之ヲ定ム

第十三條 收入役ハ定期及臨時ニ市金庫ノ現金及帳簿ノ検査ヲ爲スヘシ

第十四條 市金庫ニ於テ取扱フ現金ハ本業部ト混同セサル爲メ常ニ之ヲ區分シ置クヘシ

第十五條 本規則ニ定ムルモノ、外必要ナル規程ハ市長之ヲ定ム

附 則

本規則ハ昭和八年二月一日ヨリ施行ス

松阪市金庫事務取扱規程

昭和八年二月一日告示第六號

第一條 市金庫ニ於テ出納スル現金ハ左ノ區分ニ從ヒ會計年度毎ニ收入支出ヲ整理スヘシ但シ市歳入歳出ハ各經濟毎ニ整理スルモノトス

- 一、市歳入歳出
- 二、國 稅
- 三、縣 稅
- 四、保管 金

出納閉鎖後ニ於ケル過年度ニ屬スル縣稅又ハ市稅ハ現年度ノ縣又ハ市ノ雜收入トシテ整理スヘシ

第二條 市金庫ハ左ノ印章ヲ使用スヘシ



圓徑八分ニシテ中部ノ數字ハ年月日ヲ表示シ年月日ノ上部ノ數字ハ市金庫事務取扱所別符號トス

前項ノ印章ハ之ヲ市金庫ニ交付ス

第三條 收入役ハ照較ニ供セシムルタメ其ノ印鑑ヲ市金庫ニ交付スヘシ

第四條 市現金ノ支拂ハ市役所内金庫ニ限り之ヲ取扱フヘシ

支金庫ニ於テハ特ニ命令スル場合ノ外納期限ヲ經過シタル收納金ノ取扱ヲナスコトヲ得ス

第五條 市金庫ニ於テ納人ヨリ納稅告知書、徵稅令書、納額告知書又ハ納付書等ヲ添へ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ規定ノ如ク市金庫ノ領收日附印ヲ押捺シ其ノ領收証ハ納人ニ交付シ其ノ納稅告知書、徵稅令書、納額告知書又ハ納付書等ハ收入役ニ送付スヘシ但シ納期ヲ過キ收入役ヨリ督促狀發付ノ通知ヲ受ケタル稅金ニ對シテハ其ノ督促手數料及延滞金ヲ徵收スヘキモノハ其ノ延滞金トモ領收ノ上其ノ徵稅令書、納額告知書等ノ金額ノ左ニ督促手數料及延滞金ヲ記入スヘシ納人ニ交付スル領收証亦同シ

第六條 市金庫ニ於テ市吏員ヨリ拂込書ヲ添へ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ前條ニ依リ取扱ノ上其ノ領收証ハ拂込者ニ交付シ其ノ拂込書ハ之ヲ收入役ニ送付スヘシ

第七條 市金庫ハ他ノ公共團體又ハ之ニ準スヘキモノ、租稅其ノ他公課ノ拂込ヲ受ケタルトキハ之ヲ保管金トシテ取扱フヘシ

第八條 市金庫ハ收入役ヨリ市ニ於テ受領スヘキ受入金ノ收入命令ノ通知ヲ受ケタルトキハ收入ノ上收入濟書ハ之ヲ收入役ニ送付スヘシ

第九條 市金庫ニ於テ入札保證金請負保證金ノ如キ是等ニ類スル保管預リヲ要スルモノ、現金又ハ有價証券ノ納付ヲ受ケタルトキハ市金庫ノ領收日附印ヲ押捺シタル保管証券ヲ發行シ拂込者ニ交付スヘシ

前項ノ現金又ハ有價証券還付ノ請求アリタルトキハ其ノ保管証券ニ「不用還付」ノ印並收入役及主務課長ノ捺印ノ有無ヲ査閲シ其ノ餘白ニ年月日及受領ノ旨記載捺印セシメ現金又ハ有價証券ハ之ヲ還付シ其ノ當該証券ハ收入役ニ廻付スヘシ

第十條 市金庫ハ前條ノ外收入役ノ發付シタル仕拂通知書ニ依ルニ非サレハ現金ノ支拂ヲナスコトヲ得ス

仕拂通知書ニ記載シタル期限ヲ經過シタルモノ亦同シ

第十一條 市金庫ハ收入役ノ發シタル仕拂通知書ヲ持參シ現金ノ支拂ヲ請求スルモノアルトキハ當該仕拂案内ニ對查シ適合シタルモノニ對シテハ仕拂通知書ト引換ニ現金ヲ交付シ其ノ仕拂案内及仕拂通知書ニハ仕拂濟日附印ヲ押捺シ仕拂案内ハ

市金庫ニ保存シ仕拂通知書ハ之ヲ收入役ニ送付スヘシ

第十二條 市金庫ハ收入役ヨリ支拂案内ノ送付ナキトキ又ハ仕拂案内取消ノ通知ヲ受ケタル仕拂通知書ヲ以テ現金ノ支拂ヲ求メタル者アルトキハ該仕拂ヲ停止シ其ノ事實ヲ收入役ニ報告スヘシ

第十三條 市金庫ハ左ノ場合ニ於テ收入又ハ支出ヲ拒ムコトヲ得

一、納税告知書、徵稅令書、納額告知書、納付書又ハ仕拂通知書カ様式ニ違フト

キ
二、同上記載ノ字体又ハ印影明瞭ナラス汚染若クハ毀損シ其ノ要部ヲ明ニ認メ難キトキ

三、仕拂金額ノ在金額ヨリ超過スルトキ

第十四條 市金庫ニ於テ收入役ヨリ仕拂案内ノ取消通知ヲ受ケタルトキハソノ仕拂案内ニ其ノ旨附記シ關係帳簿ニ記入ノ上其ノ案内書ハ速カニ之ヲ收入役ニ返付スヘシ

第十五條 市金庫ハ收入役ヨリ國庫縣金庫ニ現金拂込又ハ受託徵收金若ハ過誤納金拂戻命令ヲ受ケタルトキハ即日拂込又ハ送金若クハ拂戻ノ手續ヲナシ其ノ領收証ハ之ヲ收入役ニ送付スヘシ

第十六條 市金庫ニ於テ前條ニヨリ送金又ハ拂戻ノ手續ヲナシタルモ事故ノタメ受取人ニ到達セス又ハ還付シ來リタルトキハ直ニ戻入整理ヲ爲シ送金又ハ拂戻命令ノ餘白ニ其ノ旨記入シ之ヲ收入役ニ送付スヘシ

第十七條 市金庫ハ納人ヨリ返納告知書ヲ添へ現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ總テ歳入ノ例ニ準シ取扱フヘシ

第十八條 市金庫ハ仕拂案内ヲ受ケタルモノニシテ當該年度出納閉鎖期日迄ニ現金支拂ヲ了セサルモノアルトキハ其ノ仕拂案内ノ餘白ニ其ノ旨記入シ即日之ヲ收入役ニ返付スヘシ

第十九條 市金庫ハ毎年度左ノ帳簿ヲ備へ現金ノ出納ヲ整理スヘシ但シ便宜補助簿ヲ設クルコトヲ得

一、現金出納簿（第一號様式）

二、仕拂案内額整理簿（第二號様式）

現金出納簿ハ支金庫ニ於テモ之ヲ備フヘシ

前各項ノ帳簿ハ各經濟毎ニ別冊又ハ別口座ト爲スヘシ

第二十條 支金庫及臨時出張所ニ於テ國稅、縣稅、市歲入及保管金ノ納付ヲ受ケタルトキハ前各條ニヨリ取扱ノ上毎日受入額ヲ現金出納簿ニ登記シ證憑書ニ現金ヲ

添へ即日市金庫ニ送付スヘシ但証憑書ハ各科目ニ区分シ其ノ仕譯書ヲ添付スヘシ
第二十一條 市金庫ハ毎日市金庫出納日計表(第三號様式)甲乙二通ヲ調製シ即日
之ヲ收入役ニ提出シ其ノ乙號ハ証明ヲ受ケ之ヲ保存スヘシ

前項日計表ニハ收入金ノ證憑書ヲ添付シ仍證憑書ハ各科目ニ区分シ其ノ仕譯書ヲ
添付スヘシ

第二十二條 市金庫ハ現金出納簿ニ依リ第三號様式ニ準シ毎月出納月計表甲乙二通
ヲ調製シ翌月三日迄ニ之ヲ收入役ニ提出シ其ノ乙號ハ証明ヲ受ケ之ヲ保存スヘシ
第二十三條 市金庫ニ於ケル帳簿及證憑書ハ當該年度經過後五ケ年間之ヲ保存スヘ
シ

附 則

本規程ハ昭和八年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式

<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;"><u>昭和</u> <u>年度</u></p> <p style="font-size: 1.5em; margin: 0;"><u>現金出納簿</u></p> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;"><u>市金庫(何支金庫)</u></p>
--

總括

年	月	日	摘要	受	拂	残
8	2	1	市費	100 ^円 00		100 ^円 00
〃	〃	2	全上	150 ^円 00		250 ^円 00
〃	〃	3	全上	70 ^円 00		320 ^円 00
〃	〃	〃	支出支拂案内 50枚		200 ^円 00	120 ^円 00

市金庫ニ於ケル記載例

第一號對左

記載例
支金庫又ハ臨時出張所ニ於ケル

年	月	日	摘要	受	拂	残
8	2	1	収入	50 ^円 00		50 ^円 00
〃	〃	〃	市金庫へ廻送		50 ^円 00	0

第二號様式

昭和 年度

仕拂案内額整理簿

松阪市金庫

市 費

年月日	摘 要	支拂案内額	支 拂 額	未 拂 額
8 2 1	自第 號 市費支拂案内	500.00		500.00
2	二月一日案内ノ分市費支拂		450.00	50.00
2	二月一日案内ノ分市費支拂		50.00	0
3	二月一日案内ノ分市費支拂		500.00	0
	月 計	500.00	500.00	0
	累 計	500.00	500.00	0

此國稅縣稅
 シ各口座ニ準
 ニ股ク整テ
 別ニ口座ヲ
 整理スルコト

第三號様式 甲 昭和 年度 市 金庫出納日計表 昭和 年 月 日

摘要	前日越高	本日受入高	本日拂出高	差引残高	備考
市費					市額本附ハ拂及ラニ未高シニ未高シノ金總拂ヘ考出日未ス備後前日記
日野町二丁目費					
國稅					
縣稅					
保管金					
合計					

上記ノ通リ報告候也

松阪市收入役 殿 松 阪 市 金 庫

.....切.....取.....繰.....
 月計表モ此ノ例ニ準シ作成ノコト
 月計表ハ赤色刷トナスコト

第三號様式 乙 昭和 年度 市 金庫出納日計表 昭和 年 月 日

摘要	前日越高	本日受入高	本日拂出高	差引残高	備考
市費					
日野町二丁目費					
國稅					

第十一類

警

備

松阪市消防組規程

昭和八年二月一日告示第六號

第一章 組織

第一條 明治二十七年勅令第十五號消防組規則及明治三十一年三重縣令消防組規則施行細則ニ依リ松阪市ニ消防組ヲ設置ス

第二條 本消防組ハ松阪市消防組ト稱ス

第三條 松阪市消防組ハ組頭以下三百二十名ヲ以テ定員トス

第四條 消防組ヲ分チテ十二部トス其ノ部ニ屬スル區劃左ノ如シ

第一部 ガソリン唧筒 松阪市一圓

第二部 全

第三部 自動車唧筒 全

第四部 全

第五部 腕用唧筒 湊町、日野町、日野町二丁目

第六部 全 大口、郷津、高町屋